

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成4年(1992)年

順天堂大学医史学研究室編

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 単行本 | 20 産婦人科史 |
| 02 医学切手・書画 | 21 齒学史 |
| 03 医学教育 | 22 史跡・記念碑 |
| 04 医学用語 | 23 疾病史 |
| 05 医師会・学会 | 24 耳鼻咽喉科史 |
| 06 医史学一般 | 25 種痘史 |
| 07 医の倫理 | 26 獣医学史 |
| 08 医療器械 | 27 書簡 |
| 09 医療制度史・医療史 | 28 書誌学 |
| 10 衛生・公衆衛生史 | 29 小児科史 |
| 11 解剖学史 | 30 神経学史 |
| 12 眼科史 | 31 診断学史 |
| 13 看護史 | 32 整形外科史 |
| 14 寄生虫学史 | 33 精神医学史 |
| 15 教室史 | 34 生物学史 |
| 16 軍陣医学史 | 35 西洋医学史 |
| 17 形成外科史 | 36 生化学史 |
| 18 外科史 | 37 生理学史 |
| 19 細菌学史 | 38 地方史 |

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 39 治療史 | 51 法医学史 |
| 40 伝記 | 52 放射線医学史 |
| 41 伝記(双) | 53 本草学史・博物学史 |
| 42 伝染病史・防疫史 | 54 麻醉学史 |
| 43 東洋医学史 | 55 門人録 |
| 44 内科学 | 56 薬学史 |
| 45 皮膚科史(1)・泌尿器科史(2) | 57 蘭学史 |
| 46 病院史 | 58 リハビリテーション関係史 |
| 47 病跡史 | 59 その他 |
| 48 病理学史 | 60 中国語文献 |
| 49 風俗史 | 61 欧文文献 |
| 50 仏教医学史 | |

今回は14、15、17、25、37、42、45(1)、47、48、51、58にあたる文献はありません。

01 単行本

- 『癌の臨床(別集21) 乳腺疾患の歴史—主に外科史を中心に』安藤博 篠原出版
- 『日本近代外科の源流』アンプロアズ・パレ没後400年記念会(編) アンプロアズ・パレ没後400年記念会実行委員会
- 『緒方洪庵の蘭学』石田純郎 思文閣出版
- 『中国医学思想史』石田秀実 東京大学出版会
- 『茨城県医師会史<昭和後期編1>』茨城県医師会史編纂委員会編

『ピグミーの脳、西洋人の脳』大橋力 朝日新聞社
『銀杏の木 わが心に生きる祖父為綱像 父・隣太郎のこと』
小田丙午郎、小田清綱小田為綱資料集刊行委員会
『傳染病研究所—近代医学開拓の道のり』小高健 学会出版
センター
『漢方歯学と麻酔』加藤増夫 医歯薬出版
『医学史と数学史の対話』川喜田愛郎、佐々木力 中公新書
『切手で見える輸血と献血』河瀬正晴 コロナ社
『我が国の科学史研究の歴史と現状についての実証的研究』
菊池俊彦 研究成果報告書
『開業医ブルース・医家二十一代目のつぶやき』北小路博央
かもがわ出版
『小品方・黄帝内経明堂(古鈔本残卷)』小曾戸洋、真柳誠 北
里東洋医学総研
『柏倉忠肅とその周辺』小竹英夫 北海道出版企画センター
『ホスピスと老人介護の歴史』新村拓 法政大学出版局
『傳染病研究所・医科学研究所の100年 1892-1992』東京大
学医科学研究所 100周年記念委員会
『豊川市医師会史 第一巻』豊川医師会
『第94回日本医学会シンポジウム記録集 免疫学の進歩—自
己免疫を中心に』日本医学会編
『内科学用語集 第4版』日本内科学会編集
『続ヤヌスの顔—背面思考の神経内科学—』古川哲雄 科学
評論社

『病気の起源—貧しさ病と豊かさ病—』マキューン、トーマ
ス著、酒井シヅ、田中靖夫共訳 朝倉書店
『日本麻酔科学史資料(6) 日本麻酔科学文献集(1) 1873年
(明治6年)~1930年(昭和5年)』松木明知(編) 克誠堂出版
『徐福伝説の謎』三谷菜沙夫 三一書房
『蒙疆(中央)学院史』蒙疆(中央)学院史編纂委員会 (学)安
城学園
『医歯薬史雑録』谷津三雄 医歯薬出版
『〈中国科学史国際會議：1987京都シンポジウム〉報告書』
山田慶兒、田中淡(編) 京都大学人文科学研究所
『図説横浜キリスト教文化史』横浜プロテスタント史研究会
有隣堂
『私伝・吉田富三 癌細胞はこう語った』吉田直哉 文芸春
秋社
『道教与不老長寿医学(中国語版)』吉元昭治 成都出版社

02 医学切手・書画

「医学切手美術館19 看護婦さん」河瀬正晴『透析ライフ』
42
「医学切手美術館20 人工透析と腎臓移植」河瀬正晴『透析ラ
イフ』43
「医学切手美術館21 聴診器」河瀬正晴『透析ライフ』44
「医学切手美術館22 X線撮影」河瀬正晴『透析ライフ』45
「切手で見える血液事業(46) <血液銀行>」河瀬正晴『血液事

業Blood Programme』15(1)
「切手で見る血液事業(47)〈エイズ予防〉」河瀬正晴『血液事業Blood Programme』15(2)
「切手で見る血液事業(48)〈献血〉」河瀬正晴『血液事業Blood Programme』15(3)
「切手で見る血液事業(49)〈輸血〉」河瀬正晴『血液事業Blood Programme』15(4)
「切手で見る免疫血液学(69)Claude Bernard」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(1)96
「切手で見る免疫血液学(70)血圧」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(1)97
「切手で見る免疫血液学(71)免疫学の起源」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(2)109
「切手で見る免疫血液学(72)Louis Pasteurと瀉血療法」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(2)110
「切手で見る免疫血液学(73)AIDSとコンドーム」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(3)110
「切手で見る免疫血液学(74)血清療法の確立」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(3)111
「切手で見る免疫血液学(75)肺循環の発見」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(4)77
「切手で見る免疫血液学(76)Galileo Galileiと脈拍」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(4)78
「切手で見る免疫血液学(77)心臓」河瀬正晴『Medical Post-

graduates』30(5)99
「切手で見る免疫血液学(78)透析」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(5)100
「切手で見る免疫血液学(79)注射」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(6)99
「切手で見る免疫血液学(80)補液・輸液」河瀬正晴『Medical Postgraduates』30(6)100
「切手に見る臨床検査 表紙 汎米保健機構75年記念切手と労働環境切手」河瀬正晴『WAKO NOWS』34
「切手に見る臨床検査1 臨床検査の始り―尿検査―」河瀬正晴『WAKO NOWS』30
「切手に見る臨床検査2 顕微鏡検査」河瀬正晴『WAKO NOWS』31
「切手に見る臨床検査3 細菌検査」河瀬正晴『WAKO NOWS』32
「切手に見る臨床検査4 血液型検査」河瀬正晴『WAKO NOWS』33
「新切手でみる医学史」古川明『Medical Tribune』24(1-52)
「ミニ博物館 医学切手 NURSE & NURSING① 医療史に残るNURSEナイチンゲール(1)NURSING フリードナーとフライ」古川明『薬事報あさひ』1(1)22
「ミニ博物館 医学切手 NURSE & NURSING② 医療史に残るNURSEナイチンゲール(2)NURSING 載帽式とナイチンゲール誓詞」古川明『薬事報あさひ』1(2)22

「ミニ博物館 医学切手 NURSE & NURSING③ NURSE
ナイチンゲール記章 NURSING 国際看護婦協会ICN
(1)」古川明『薬事報あさひ』1(3)

「ミニ博物館 医学切手 NURSE & NURSING④ NURSE
ナイチンゲールの銅像と博物館 NURSING 国際看護
婦協会ICN(2)」古川明『薬事報あさひ』1(4)22

「ミニ博物館 医学切手 NURSE & NURSING⑤ NURSE
イーディス・キャンベル NURSING 助産学」古川明『薬
事報あさひ』1(5)22

03 医学教育

「函館医学校生徒記録(抄)」石崎達『日本医史学雑誌』38(2)
336-337

「ヨーロッパの軍医学と日本の近代医学 医科大学に形而上
学の講座設置を望む」石田純郎『新医療』(92 1月)52-55

「医史学という名の医学概論(会議録)」大村敏郎『医学教
育』23(5)288-289

「医術開業試験と済生学舎(抄)」唐沢信安『日本医史学雑
誌』38(2)324-326

「警視医学校の蔵書印, その他警視庁裁判医学校略史・補遺」
小関恒雄『犯罪学雑誌』58(4)159-161

「明治初期医師養成教育と衛生観」瀧澤利行『日本医史学雑
誌』38(4)583-602

「慶応義塾医学所, 済生学舎, 成医会講習所」松田誠『東京

慈恵会医科大学雑誌』107(1)129-143

04 医学用語

「糖尿病という病名の歴史」平田幸正『からだの科学増刊 糖
尿病』2-6

「病名の由来 血友病」深瀬泰旦『Medical Technology』
20(1)19

「病名の由来 點頭癲癇」深瀬泰旦『Medical Technology』
20(2)119

「病名の由来 再生不良性貧血」深瀬泰旦『Medical Tech-
nology』20(3)199

「病名の由来 モヤモヤ病」深瀬泰旦『Medical Technology』
20(4)309

「病名の由来 チック症」深瀬泰旦『Medical Technology』
20(5)387

「病名の由来 嗜眠性脳炎」深瀬泰旦『Medical Technology』
20(6)489

「病名の由来 消化不良性中毒症」深瀬泰旦『Medical Tech-
nology』20(7)829

「病名の由来 フェニルケトン尿症」深瀬泰旦『Medical
Technology』20(8)901

「病名の由来 アルカプトン尿症」深瀬泰旦『Medical Tech-
nology』20(9)975

「病名の由来 先天性白皮症」深瀬泰旦『Medical Technol-

ogy』20(10)1087

「病名の由来 白斑」深瀬泰旦『Medical Technology』20(11)1163

「病名の由来 不思議の国のアリス症候群」深瀬泰旦『Medical Technology』20(12)1241

「ことばの由来51 癌と肉腫」岩月賢一『Johns』8(2)400-402

「ことばの由来52 涙・汗・血液」Hugh E. Wilkinson訳：伊藤藤裕之『Johns』8(6)948-950

「ことばの由来53 老いと呆け」岩月賢一『Johns』8(9)1348-1350

「ことばの由来54 耳管通気法における“ポリツェル法”の由来」飯田収『Johns』8(12)1808-1811

05 医師会・学会

「日本医師会小史 第95回 明治期の開業医と医学教育(その4)(福沢諭吉と慶応義塾医学所)—医師会前史・その41—」青柳精一『日本医師会雑誌』107(2)265-267

「日本医師会小史 第96回～98回 明治期の開業医と医学教育(その5～7)(長谷川泰と済生学舎・上、中、下)—医師会前史・その42～44—」青柳精一『日本医師会雑誌』107(4,6,8)659-661,1005-1007,1457-1459

「日本医師会小史 第99回 明治期の開業医と医学教育(その8)(高木兼寛と成医会講習所)—医師会前史・その45—」青柳精一『日本医師会雑誌』107(10)1843-1845

「日本医師会小史 第100回 明治期の開業医と医学教育(その9)(吉岡弥生と東京女子医学校)—医師会前史・その46—」青柳精一『日本医師会雑誌』107(12)2221-2223

「日本医師会小史 第101回 明治期の開業医と医学教育(その10)(通学生教場から別課医学へ)—医師会前史・その47—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(2)285-287

「日本医師会小史 第102回 明治期の開業医と医学教育(その11)(甲種医学校と高等中学校医学部)—医師会前史・その48—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(4)615-617

「日本医師会小史 第103回 医師への難関に挑んだ3人の女性 —医師会前史・その49—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(7)949-951

「日本医師会小史 第104回 医弊を憂いた2人の医師 —医師会前史・その50—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(9)1249-1251

「日本医師会小史 第105回 医療費にみる貧富の格差 —医師会前史・その51—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(12)1625-1627

「日本医師会小史 第106回 日本医学会と日本聯合医学会 —医師会前史・その52—」青柳精一『日本医師会雑誌』108(14)1929-1931

「日本大学医学会の歴史を顧みて」有賀槐三 『日大医学雑誌』51(1)17-24

「終戦前後の日本医学会(抄)」渋谷鉞、谷津三雄『日本医史

学雑誌』38(2)332-333

「日本歯科医史学会20周年の歩み」谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(3)146-185

「日本歯科医史学会20周年の歩み(抄)」谷津三雄『日本医史学雑誌』38(1)202-208

06 医史学一般

「医学史ミニ博物館(69)ジェンナーからパストゥールへのバトタッチ」大村敏郎『医学のあゆみ』160(4)244

「医学史ミニ博物館(70)牛痘法のはじまり」大村敏郎『医学のあゆみ』160(8)519

「医学史ミニ博物館(71)番外篇：映画「外科室」をめぐって」大村敏郎『医学のあゆみ』160(13)1008

「医学史ミニ博物館(72)パレ400年記念文集をめぐって」大村敏郎『医学のあゆみ』161(4)261

「医学史ミニ博物館(73)シーボルトとその弟子」大村敏郎『医学のあゆみ』161(8)534

「医学史ミニ博物館(74)種痘と鍋島の殿さま」大村敏郎『医学のあゆみ』161(13)991

「医学史ミニ博物館(75)「愛の種痘医」たち」大村敏郎『医学のあゆみ』162(4)275

「医学史ミニ博物館(76)お玉ヶ池種痘所」大村敏郎『医学のあゆみ』162(8)480

「医学史ミニ博物館(77)日独医学交流史の書物」大村敏郎『医

学のあゆみ』162(13)943

「医学史ミニ博物館(78)適塾の母：緒方八重のふるさと」大村敏郎『医学のあゆみ』163(4)231

「医学史ミニ博物館(79)日本の放射線科の草分け藤波剛一没後50年祭」大村敏郎『医学のあゆみ』163(9)697

「医学史ミニ博物館(80)微生物を味方にしたルイ・パストゥール」大村敏郎『医学のあゆみ』163(12,13)908

「足利学校古文書にみられる医療(会議録)」倉沢昭寿『日本東洋医学雑誌』42(3)386-387

「医学と薬学」蔵方宏昌『ヴィジュアル百科・江戸事情 文化編』雄山閣出版4 49-56

「20世紀に得たもの、失ったもの—医史学の視点から(第3部 / 20世紀後半の医学)」酒井シヅ『ヒューマンサイエンス』3(4)18-22

「医師像の歴史的変遷」酒井シヅ『医師・治療者自身のストレス管理』医薬ジャーナル140-149

「古典の窓から 医者身分」酒井シヅ『ターミナルケア』2(5)325

「日本人の死生観 臨終—医史学の視点から—」酒井シヅ『ターミナルケア』2(12)774-776

「近代医学の源流(1)紅毛学第一 宇田川玄真(1769-1834)」杉本つとむ『日本医師会雑誌』107(7)1192-1194

「近代医学の源流(2)オランダ医学の祖 吉雄耕牛(1724-1800)」杉本つとむ『日本医師会雑誌』107(9)1670-1672

「近代医学の源流(3) 淋巴腺の〈腺〉と脾臓の〈脾〉」杉本つとむ『日本医師会雑誌』107(11)2008-2009

「近代医学の源流(4) ネルポから神経へ」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(1)114-115

「近代医学の源流(5) 医療器具としての顕微鏡」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(3)478-479

「近代医学の源流(6) カテitelとヨリキンガラス」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(6)14-816

「近代医学の源流(7) 『医戒』と長生術」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(8)1102-1103

「近代医学の源流(8) 幕末、尿の化学検査」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(10)1418-1419

「近代医学の源流(9) 蘭方医と〈空気〉の発見」杉本つとむ『日本医師会雑誌』108(13)1792-1793

「世界の医療文化史(103)6.革新の世紀-6.1.5フランス革命と医学教育の改革-」宗田一『Pharma Medica』10(1)124-128

「世界の医療文化史(104)6.革新の世紀-パリ学派-」宗田一『Pharma Medica』10(2)190-195

「世界の医療文化史(105)6.革新の世紀-パリ学派(続1)-」宗田一『Pharma Medica』10(3)177-182

「世界の医療文化史(106)6.革新の世紀-パリ学派(続2)-」宗田一『Pharma Medica』10(4)209-214

「世界の医療文化史(107)6.革新の世紀-6.2.1新ウーン学

派-」宗田一『Pharma Medica』10(5)134-138

「世界の医療文化史(108)6.革新の世紀-新ウーン学派の台頭(続)-」宗田一『Pharma Medica』10(6)168-172

「世界の医療文化史(109)6.革新の世紀-最初のアルカロイド・モルヒネの単離(続)-」宗田一『Pharma Medica』10(7)160-164

「世界の医療文化史(110)6.革新の世紀-ベルナール-」宗田一『Pharma Medica』10(8)106-110

「世界の医療文化史(111)6.革新の世紀-6.2.3ドイツ医学の転換-」宗田一『Pharma Medica』10(9)91-97

「世界の医療文化史(112)6.革新の世紀-ドイツ大学制度の新生-」宗田一『Pharma Medica』10(10)159-164

「世界の医療文化史(113)6.革新の世紀-6.2.4細胞説から細胞病理学へ-」宗田一『Pharma Medica』10(11)110-114

「世界の医療文化史(114)6.革新の世紀-細胞分裂-」宗田一『Pharma Medica』10(12)153-156

「新編オランダ話(その7)自然科学史博物館から(B)」中西淳朗『神奈川県保険医協会』(319)35-41

「医学史の流れの中において(会議録)」日比野進『日本臨床内科医会誌』7(3)143

「医史散歩(25)堀内静一」堀内きよし『兵庫県医師会報』(453)

「日本の伝統的医療の世界について 祈禱呪法の世界から医療の世界への展開」森忠重『医学哲学医学倫理』(10)25-45

「医学ことわざシリーズ1 「医は仁術」をめぐる」山本徳

子『循環』13(3)36

「医学ことわざシリーズ2「医は三世」」山本徳子『循環』13(4)36

「医学ことわざシリーズ3九度肘を折って医と成る」山本徳子『循環』13(5)36

「医学ことわざシリーズ4枇杷が黄色になると医者忙しい、橘が黄色になると医者は蔵れる、蘿蔔が登場すると医者は郷に還る。」山本徳子『循環』13(6)36

「医学ことわざシリーズ5風邪は万病のもと」山本徳子『循環』13(7)36

「医学ことわざシリーズ6杏林(きょうりん)」山本徳子『循環』13(8)36

「医学ことわざシリーズ7酒は百薬の長(酒は腸を穿つ毒薬)」山本徳子『循環』13(9)36

「医学ことわざシリーズ8上医は国を医し、その次は疾人」山本徳子『循環』13(10)36

「新春対談 歴史と医学への旅」吉村昭、羽田春免『日本医師会雑誌』107(1)7-22

07 医の倫理

「「自然良能」および「医は自然ノ臣僕ナリ」思想の回帰(抄)」津下健哉『日本医史学雑誌』38(2)283-285

08 医療器械

「顕微鏡のはなし 補遺(抄)」上潟口武、萩原義郷、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』18(2)82

「薬剤師教養シリーズ 電子顕微鏡の視界 電子顕微鏡の歴史と原理」竜岡穂積『薬局』43(8)1217-1221

「顕微鏡外史 カールツァイス・その栄光の歴史 その1 細胞学者の顕微鏡(下)」廣川豊康『ミクروسコピア』9(2)120-122

「顕微鏡外史 カールツァイス・その栄光の歴史 その2 シングルレンズのパワー」廣川豊康『ミクロスコピア』9(3)190-192

09 医療制度史・医療史

「認定医専門医制度の歴史」草川三治『日本医学会総会23回会誌』(2)131

「日本の医療史(69) 脳を日本人はどう認識したか」酒井シヅ『薬事新報』(1689)408-412

「明治御御雇外国人医学教師関係法について(抄)」高安伸子『日本医史学雑誌』38(2)281-283

「『耳囊』に記録された民間療法(抄)」浜田善利『日本医史学雑誌』38(2)227-228

「近代医療史(1)密林の聖者」原健二『地域医学』6(2)9-12

「近代医療史(2)1855年の鉄欠乏性貧血」原健二『地域医学』

6(3)8-11
「近代医療史(3)ビタミン学の創成」原健二『地域医学』6(4)
891-894
「近代医療史(4)病原性細菌学の曙」原健二『地域医学』6(5)
13-16
「近代医療史(5)病原微生物治療薬の開発」原健二『地域医学』
6(6)920-923
「Entireが語る庶民医療史(1)明治5年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(1)55-57
「Entireが語る庶民医療史(2)明治8年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(2)105-107
「Entireが語る庶民医療史(3)明治12年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(3)83-85
「Entireが語る庶民医療史(4)明治14年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(4)91-93
「Entireが語る庶民医療史(5)明治17年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(5)107-109
「Entireが語る庶民医療史(6)明治20年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(6)95-97
「Entireが語る庶民医療史(7)明治22年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(7)75-77
「Entireが語る庶民医療史(8)明治23年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(8)79-81
「Entireが語る庶民医療史(9)明治24年」正木繁『MODERN

MEDICINE』21(9)75-77
「Entireが語る庶民医療史(10)明治26年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(10)95-97
「Entireが語る庶民医療史(11)明治28年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(11)89-91
「Entireが語る庶民医療史(12)明治29年」正木繁『MODERN
MEDICINE』21(12)87-89
「明治7年「医制」制度に関する若干の考察—医業の資格制
度誕生をめぐる—」松山圭子『法学政治学研究』(14)
139-170
「大腸がん検診 その歴史と問題点」吉田豊, 斎藤博, 中路
重之『日本公衆衛生雑誌』39(7)377-379

10 衛生・公衆衛生史

「黎明期の労働衛生史<105>～<107>「鉄鋼」に生きた人々
野呂景義16-18 俵国一(上)(中)(下)」乾修然『労働衛生
ジャーナル』(188-190)2
「黎明期の労働衛生史<108>～<109>「鉄鋼」に生きた人々
野呂景義19-20 本多光太郎(上)(下)」乾修然『労働衛生
ジャーナル』(191-192)2,3
「黎明期の労働衛生史<110>「鉄鋼」に生きた人々 労働衛
生①」乾修然『労働衛生ジャーナル』(194)2
「黎明期の労働衛生史<111>「鉄鋼」に生きた人々 労働衛
生②職業性疾病」乾修然『労働衛生ジャーナル』(195)2

「『日本医事新報』医師求人欄の史的分析(第2報) 鉦山事業所を中心に産業衛生に携わった医師(会議録)」西原信彦, 外1名『産業医学』34(2)169

「明治初期の衛生学書『衛生概論』について」橋本和夫『北陸医史』13(1)26-34

「日本の鉄道労働衛生学の歴史」松藤元『労働科学』68(3)102-114

「文明は病気を変える 30-35」松藤元『労働衛生ジャーナル』(187,188,189,191,194,195)3

「自然と人工環境 ～快適環境のフォークロア～ ～第IX部 オフィスの空気とアメニティー～」三浦豊彦『労働科学』68(3)85-101

「自然と人工環境 ～快適環境のフォークロア～ ～第X部 オフィス環境のアメニティー因子～」三浦豊彦『労働科学』68(4)135-146

「続サテライト通信(25)アルプスの氷と4000年前のミイラ」三浦豊彦『労働の科学』47(2)104-105

「続サテライト通信(26)朱い夕日」三浦豊彦『労働の科学』47(3)152-153

「続サテライト通信(27)ナンバ(ナンバン)歩行・再考」三浦豊彦『労働の科学』47(4)226-227

「続サテライト通信(28)毒ガス兵器」三浦豊彦『労働の科学』47(5)288-289

「続サテライト通信(29)エイズウィルスの発見者」三浦豊彦

『労働の科学』47(6)352-353

「続サテライト通信(30)南京虫」三浦豊彦『労働の科学』47(7)404-405

「続サテライト通信(31)イサベラ・バードの日本旅行」三浦豊彦『労働の科学』47(8)474-475

「続サテライト通信(32)佐野辰雄さん」三浦豊彦『労働の科学』47(9)534-535

「続サテライト通信(33)クリストーバル・コロソと新大陸」三浦豊彦『労働の科学』47(10)584-585

「続サテライト通信(34) ハヴェイのDe motu cordis」三浦豊彦『労働の科学』47(11)644-647

「続サテライト通信(35)暉峻義等編 谷田澤静子さんの手紙」三浦豊彦『労働の科学』47(12)700-701

「熱中症と水分・塩類補給の歴史(一)—徳川時代の高温対策—」三浦豊彦『科学医学資料研究』(219)1-7

「熱中症と水分・塩類補給の歴史(二)—軍隊と産業の熱中症—」三浦豊彦『科学医学資料研究』(220)1-7

「目でみる労働と健康の歴史(その9)—大正末の労働衛生—」三浦豊彦『労研維持会資料』(1298-1299)1-15

「労働衛生史の研究」三浦豊彦『労働科学』68(9)469-471

「労働観私論(I)～クロマニヨン人、古代エジプト、ギリシア、ローマ人の労働観～」三浦豊彦『労働科学』68(6)246-254

「労働観私論(II)～昔の日本人の労働観～」三浦豊彦『労働科学』68(8)331-346

11 解剖学史

- 「解体新書にみられる謎(1)～(2)」大城孟『Medical Post-graduates』30(1,2)11-26,106-121
- 「日本における芸解剖学の受容(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』38(2)240-242
- 「バルベルデ人体構造解剖図説再考(抄)」西大條文一『日本医史学雑誌』38(2)230-231
- 「脳の風景」萬年甫『Brain Medical』4(1-4(終))5-11, 141-146,261-266,373-378
- 「外国人研究者による日本人顔貌のタイプ」吉岡郁夫『日本医史学雑誌』38(4)649-653

12 眼科史

- 「ウトレヒト大学眼科病院資料室に眠る日本由来の医学史料—竹山屯署名入の『眼科提要』をはじめとして—」石田純郎『新潟市医師会報』(251)14-19
- 「白内障手術史(その1)～(その4)」奥沢康正『日本の眼科』63(1-4)25-33,151-161,287-301,431-437
- 「眼内レンズ手術発展の歴史」早野三郎『眼科MOOK』(47)1-8
- 「眼科むかしばなし(22)」飛見立郎『薬局』43(4)605-611

13 看護史

- 「現代の家族計画 ステロイド避妊法の歴史」岡田弘二『周産

期医学』22(5)621-624

- 「看護歴史研究の意義を追求する」島崎玲子『看護MOOK』(40)117-122
- 「産婆志願者募集広告に見る、東京府病院産婆教授所の内務省免状産婆教育開始時の実態」高橋みや子『日本看護研究学会雑誌』(15)176
- 「わかりやすい看護教育制度—資料集—」高橋みや子, 石鍋圭子, 斎藤みちよ, 佐野むね, 三上れつ 廣川書店1-198
- 「看護制度 ～むかし・いま・これから～」長門谷洋治『日生看護専門学校創立30周年記念誌』41-47
- 「准看護制度の歴史(抄)」長門谷洋治『日本医史学雑誌』38(2)306-308
- 「経口避妊剤 ステロイド避妊の歴史」林方也『Pharma Medica』10(1)25-28
- 「派出看護婦会による看護婦養成の実情—大正期・昭和前期における看護婦養成史研究の一環として」平尾真智子『第36回教育史学会大会発表要綱集録』84-85
- 「老人訪問看護ステーションの開設をもって派出看護の歴史の時期区分の第9期ととらえるか」平尾真智子『看護実践の科学』17(13)40-41
- 「わが国最初の看護教育指導者ミス・リードの活動—ニューヨーク婦人伝道局の年報を中心とした資料から—」平尾真智子, 坪井良子『第23回日本看護学会(看護総合)学会集録』241-243

「ナイチンゲール看護婦—その神話と現実—」平尾真智子訳
『総合看護』27(2)27-36

「母性看護概論の授業に発見学習を適用した一例 歴史教材の有効性」宮岡久子『看護教育』33(5)384-387

「歴史教育の中で准看護婦教育をどうとらえるか 看護職の重要課題としての動機づけ」武藤美知、福井景子『看護教育』33(4)260-265

「教育雑誌」(明治12年)にみる看護歴史と看護教育(1)~(2) 吉川竜子、中村美知子『総合看護』27(1,2)35-41,51-57

16 軍陣医学史

「前線診療指針について」石橋肇、谷津三雄『日本医史学雑誌』38(2)334-335

「陸軍看病人の教育について(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』38(2)314-315

18 外科史

「『紅夷外科宗伝』図版成立へのスクルテタス(Scletetus)の外科書Armamentarium chirurgicumの影響(抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』38(2)299-301

「華岡青洲の乳癌手術」酒井シヅ『Mamma』(12)表2

「乳癌の近代的手術のはじまり」酒井シヅ『Mamma』(13)表2

「19世紀の乳癌の治療成績」酒井シヅ『Mamma』(14)表2

「精神外科医の隆盛と衰微」藤倉一郎『日本医史学雑誌』38(2)

320-321

19 細菌学史

「微生物を確認した最初の論文」井山弘幸『ミクروسコピア』9(2)122-123

「ウイルス研究の歴史と将来 ワクチン開発の歴史と将来」大谷明『蛋白質・核酸・酵素』37(14)2904-2908

「ウイルス研究の歴史と将来 インターフェロン研究史序論 現代分子生物学の考察とともに」川出由己『蛋白質・核酸・酵素』37(14)2914-2918

「病原微生物の薬剤耐性化と今後の抗生物質等のあり方に関する研究 抗菌剤の開発の歴史についての調査研究」日本抗生物質学術協議会『化学療法の領域』8(9)1689-1698

「ヒト癌ウイルス研究の歴史と将来」日沼頼夫『蛋白質・核酸・酵素』37(14)2909-2913

20 産婦人科史

「助産婦の歴史(101)~(112)」石原力『ペリネイタルケア』11(1-12)76-77,176-177,260-261,344-345,429-431,542-543,604-605,696-697,808-809,892-893,974-975,1086-1087

「健康と病気—生殖医学—」蔵方宏昌『ブリタニカ国際年鑑1992』TBSブリタニカ年鑑305-306

21 歯学史

- 「大阪府における学校歯科」石橋肇、金城喜代美、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)100
- 「東京歯科医学専門学校歯科学叢書の書誌学的(その12)～第14編 花沢 鼎・杉山不二著歯槽膿漏の局所療法について～(抄)」太田実、竹島弘道、熱田俊之助、白川尚、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』18(2)79-80
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物(第二報)歯磨き及び歯ブラシについて(抄)」大橋正敬、西山實『日本医史学雑誌』38(2)248-249
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物 第1報 歯科器材について」大橋正敬、西山實、仁平真佐秀『日本歯科医史学会々誌』18(2)45-51
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物の審査結果 第1報 歯科器材について」大橋正敬、西山實、長谷川清『日本歯科医史学会々誌』18(2)52-63
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物 第1報 歯科器材について(抄)」大橋正敬、西山實『日本歯科医史学会々誌』18(2)109
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物 第2報 歯磨および歯ブラシについて」大橋正敬、西山實『日本歯科医史学会々誌』19(1)5-11
- 「東京勧業博覧会の歯科出品物の審査結果 第2報 歯磨および歯ブラシについて」大橋正敬、西山實『日本歯科医史学

会々誌』19(1)12-22

- 「大日本私立衛生會雑誌の歯科的記載(抄)」落合俊輔、谷津三雄『日本医史学雑誌』38(2)265-266
- 「ホワイト著『口腔と歯』と桐村克己訳『歯乃養生法』の関係についての比較書誌学的研究(抄)」春日芳彦、森山徳長、小幡哲夫、塩津二郎『日本歯科医史学会々誌』18(2)103-104
- 「四方文吉述「通俗乳歯の心得」について(抄)」金子守男、村木春長、大場重信、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)85
- 「四方文吉著述「保歯要訳完」について(抄)」金城喜代美、吉村宅弘、渋谷幸男、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)83-84
- 「緒方富雄著「血清学の領域から」並びに「理論血清学」について」上瀉口武、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』18(2)107-108
- 「高山歯科医学院編 カラーアトラス付第五神経解剖篇の書誌学(抄)」亀谷博昭、古谷嘉男、市之川武、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』18(2)78-79
- 「野口英世の歯科医学叢談および歯科学報に投稿した論文について(抄)」亀谷博昭、森山徳長、塩津二郎、真木吉信、奥田克爾『日本歯科医史学会々誌』18(3)262-265
- 「野口英世の歯科医学叢談・歯科学報投稿論文について(抄)」亀谷博昭、森山徳長、塩津二郎、真木吉信、奥田克爾『日本歯科医史学会々誌』18(2)95-96

「韓国歯科医史(韓国歯科医療の開化と発展過程)(抄)」奇昌徳『日本医史学雑誌』38(2)197-201

「四方文竹著「歯牙養生法完」について(抄)」佐久間優、山口秀紀、谷津三雄、滝口久『日本歯科医史学会々誌』18(2)83

「『聖濟総録』における口腔軟組織疾患の分類について(抄)」佐藤恭道、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』18(2)106-107

「『太平聖惠方』における口腔軟組織疾患の分類について(抄)」佐藤恭道、別部智司、戸出一郎、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』18(2)106

「最初期X線診断学に関する内外文献の考察(抄)」塩津二郎、奥田克爾、高添一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』18(2)96-98

「最初期X線診断学に関する内外文献の一考察(その1)」塩津二郎、奥田克爾、高添一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』18(3)266-271

「最初期歯科X線診断学の文献的研究(その2)―機器、フィルム、露出時間等について(抄)」塩津二郎、森山徳長『日本医史学雑誌』38(2)328-329

「第8回日本医学会にみられる歯科分科会の内容(抄)」渋谷 鈺、渋谷幸男、藤井敏博、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)93-94

「中原実と西欧中世歯科器具(抄)」新藤恵久、大貫泰男『日

本歯科医史学会々誌』18(2)108-109

「絵島、生島事件と御蔵島のツゲ」新藤恵久、新藤勝之『日本歯科医史学会々誌』18(2)89

「中原市五郎の児童正食会の終焉(抄)」新藤恵久、鈴木雄司『日本歯科医史学会々誌』18(2)99

「『じょう』(義未詳)の解釈(抄)」杉本茂春『日本医史学雑誌』38(2)295-297

「ピエール・フォシャル著『歯科外科医』手稿中のフォシャル直筆と推定される部分(抄)」高山直秀『日本医史学雑誌』38(2)304-305

「ピエール・フォシャル著『歯科外科医』手稿中のフォシャル直筆と推定される部分(抄)」高山直秀『科学医学資料研究』(217)1-12

「四方文吉述「通俗齲齒及豫防法」について(抄)」土屋裕子、池田かのり、金子賢司、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)84-85

「幻の東京歯科大学<市川短期大学>の構想(抄)」戸沢行夫『日本医史学雑誌』38(2)263-264

「『頓医抄』巻第二十口腔疾患に関する考察(抄)」戸出一郎『日本医史学雑誌』38(2)288-289

「Bennett運動の再評価(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』18(2)80-81

「歯刷子ロードを辿る―楊枝歯刷子と歯刷子―」中原泉、陶粟爛『日本歯科医史学会々誌』18(3)249-261

「方輿輓と歯科について(抄)」西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』18(2)105

「葛根湯と歯痛について(抄)」西巻明彦、屋代正幸、小林一日出『日本医史学雑誌』38(2)223-224

「明治以降における歯科医事法の変遷(抄)」野田寛『日本歯科医史学会々誌』18(2)72-73

「フォッサ・マグナとツゲの道(抄)」長谷川弥、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』18(2)88-89

「学会印象記 第20回日本歯科医史学会総会(平成4年度学術大会)第93回日本医史学会総会」長谷川正康、石原力、大滝紀雄、大塚恭男、大村敏郎、蒲原宏、斉藤貞雄、下総高次、杉田暉道、杉立義一、宗田一、戸出一郎、中原泉、長門谷洋治、三輪卓爾、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』19(1)30-45

「東京歯科大学大学院創設とその発展について(抄)」長谷川正康、森山徳長、石川達也、高添一郎、金竹哲也『日本歯科医史学会々誌』18(2)75-76

「Movable Claspについて」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』18(2)29-33

「Movable Claspについて(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』18(2)88

「オープンループ並びにダブルループクラスプに就いて(抄)」平田幹男『日本医史学雑誌』38(2)247-248

「シングルループ並びにダブルループクラスプに就いて」平

田幹男『日本歯科医史学会々誌』19(1)23-29

「東京歯科医学院で野口英世が講義した歯科法医学について(その2)(抄)」福本裕、森山徳長、塩津二郎、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』18(2)94-95

「抜歯後に応用される漢方薬について(抄)」藤井佳朗『日本医史学雑誌』38(2)220-221

「明治28年歯科医会編『歯牙保護論』の書誌学(抄)」松本実、田辺明、栗山美子、森山徳長、石川達也『日本歯科医史学会々誌』18(2)104-405

「明治28年歯科医会編『歯牙保護論』の書誌学」松本実、田辺明、栗山美子、森山徳長、石川達也『日本歯科医史学会々誌』18(4)296-299

「わが国における義歯の発達(抄)」本山佐太郎『日本医史学雑誌』38(2)244-245

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書の比較書誌学的研究」森山徳長、太田実、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』18(4)283-286

「福島尚純著『口腔外科臨床講義集第一、二集』および『歯科外科学完』の書誌学」森山徳長、太田実、福本裕、白川尚『日本歯科医史学会々誌』18(2)34-38

「福島尚純著『口腔外科学第一、二巻』およびその後の著書の書誌学」森山徳長、太田実、福本裕、熱田俊之助『日本歯科医史学会々誌』18(2)39-44

「東京歯科医学専門学校歯科学叢書の書誌学的綜括(抄)」森

山徳長、太田実、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』18(2)76-77
「東京歯科医学専門学校臨床歯科学叢書の書誌学(抄)」森山徳長、春日芳彦『日本医史学雑誌』38(2)260-261
「ホワイト著「口腔と歯牙」桐村克己訳『歯及び養生法』との比較書誌学的研究」森山徳長、春日芳彦、塩津二郎『日本歯科医史学会々誌』18(4)300-304
「明治大正期歯科保存学書の比較 書誌学的研究(抄)」森山徳長、長谷川正康『日本医史学雑誌』38(2)261-262
「東京歯科医学院で野口英世が講義した歯科法医学について(その2)」森山徳長、福本裕、塩津二郎、奥田克爾、高添一郎『日本歯科医史学会々誌』18(3)272-275
「東京歯科医学専門学校の校地・建物の変遷について(抄)」森山徳長、山岸東太郎、石川達也、長谷川正康『日本歯科医史学会々誌』18(2)74-75
「旧制・新制東京歯科大学の校地・校舎の変遷について(抄)」山岸東太郎、石川達也 『日本医史学雑誌』38(2)330-331
「日本海軍歯科医科士官の歴史(VI)一軍縮の時代一(抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』18(2)98-99

22 史跡・記念碑

「湯島聖堂の神農祭と大阪少彦名神社「神農さん」の神農祭について(抄)」小林一日出、湯浅高之、植木清二、藤野坦男、斉藤憲一、西村好一、西巻明彦、屋代正幸『日本歯科

医史学会々誌』18(2)102
「探訪 医の民俗25 道隆寺/石手寺/隻手薬師(香積寺)」立川昭二『薬事報あさひ』1(1)18-20
「探訪 医の民俗26 秩父札所」立川昭二『薬事報あさひ』1(2)18-20
「探訪 医の民俗27 粟島神社/足手荒神/生目神社」立川昭二『薬事報あさひ』1(3)18-20
「探訪 医の民俗28 間々観音/矢合観音」立川昭二『薬事報あさひ』1(4)18-20
「探訪 医の民俗29 明德寺-/山神社」立川昭二『薬事報あさひ』1(5)18-20
「探訪 医の民俗30 服部天神社/中山寺/門戸厄神」立川昭二『薬事報あさひ』1(6)18-21
「探訪 医の民俗31 耳無不動/赤紙仁王(東覚寺)/ほうろく地蔵(大円寺)」立川昭二『薬事報あさひ』1(7)18-20
「探訪 医の民俗32 会津ころり三観音」立川昭二『薬事報あさひ』1(8)18-20
「探訪 医の民俗33 首切り地蔵/芋観音(長昌寺)/金山神社」立川昭二『薬事報あさひ』1(9)18-20
「探訪 医の民俗34 病送り人形」立川昭二『薬事報あさひ』1(10)18-20
「探訪 医の民俗35 疱瘡神社/味噌なめ地蔵」立川昭二『薬事報あさひ』1(11)18-20
「探訪 医の民俗36 賽の河原地蔵尊」立川昭二『薬事報あ

さひ』1(12)18-20

「平成3年度現地セミナー(パンフレット)なにお医学史蹟めぐり」長門谷洋治『大阪府医師会医学会』

「湯島聖堂「神農祭」と少彦名神社「神農さんのお祭り」の比較の検討」湯浅高之、藤野坦男、手塚裕之、斉藤憲一、西村好一、小林一日出、飯淵義久、植木清二、荒井照夫、百瀬深志、西巻明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』18(4)287-295

23 疾病史

「がんの探求—100年の歴史(中)・(下)」乾修然『労働衛生ジャーナル』(187,190)2,4

「がんの探求—100年の歴史 予防編」乾修然『労働衛生ジャーナル』(192)4

「胆管細胞癌をめぐる諸問題 歴史」奥田邦雄『肝・胆・膵』24(2)195-200

「体操と萎黄病」桑原一良、石田純郎『新見女子短期大学起要』13 17-34

「平山病の歴史」平山恵造『脊椎脊髄ジャーナル』5(2)89-96

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—48 破傷風—最近の知見から—」海老沢功『臨床科学』28(1)131-137

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—49 プライマリ・ケア」横田文吉『臨床科学』28(2)267-274

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—50 黄熱」石原理年『臨

床科学』28(3)387-395

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—51 脳卒中の治療」後藤文夫『臨床科学』28(4)540-546

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—52 人アジュバント病」三好和夫『臨床科学』28(5)661-673

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—53 ペルテス病」島津晃、広橋賢次『臨床科学』28(6)790-796

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—54 痔瘻と外科医」大村敏郎『臨床科学』28(7)913-918

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—55 鼻アレルギー(花粉症)」貝塚兎『臨床科学』28(8)1032-1040

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—56 狭心症」廣澤弘七郎『臨床科学』28(10)1365-1372

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—57 心臓超音波診断法の変遷」仁村泰治『臨床科学』28(11)1497-1508

「医療今昔物語—学説・診療の変遷—58 心筋梗塞」河合忠一『臨床科学』28(12)1637-1643

24 耳鼻咽喉科史

「古典あれこれ Zuckerkandlの鼻科学書」飯田収『Johns』8(5)822-825

「古典あれこれ Killian先生とその弟子・寸描」飯沼壽孝『Johns』8(3)524-526

「古典あれこれ Joseph Gensoulと上顎全摘術」犬山征夫

『Johns』8(1)140-142

「古典あれこれ 耳鼻咽喉科医と神経症候学—多発性脳神経障害を中心として—」犬山征夫『Johns』8(4)678-680

「古典あれこれ Bichatと咽頭の解剖と生理に関する仕事」犬山征夫『Johns』8(7)1090-1092

「古典あれこれ Georg von Békésyと聴覚古代史」貝塚侑『Johns』8(8)1220-1224

「インピーダンスオージオメトリーの歴史と原理」崎川康彦、野村恭也『Johns』8(5)705-711

26 獣医学史

「A Great Unwritten Treatise; Veterinary Pathology in The Hunterian Museum」BLAISDELL, John D. 『日本獣医史学雑誌』(28)10-17

「千葉県木戸作塚出土の切断加工痕のあるイヌ下顎骨」小宮孟『千葉県立中央博物館研究報告』2(1)15-33

「『牛乳考』・『屠畜考』について」中井薫『日本獣医史学雑誌』(28)26-32

27 書簡

「緒方洪庵の書簡に見られるカタカナ語」大友信一『洋学資料による日本文化史の研究』(5)1-16

「医塾春軒の状況—門人たちの書簡から—」高橋克伸『科学医学資料研究』(219)8-12

「『小室家書』の蘭学者書簡について—足立長雋発信の書簡—」土井康弘、竹内博、大沢真澄『東京学芸大学紀要第4部門(数学・自然科学)』44 63-76

28 書誌学

「池田文書の研究(七)・(八)」池田文書研究会『日本医史学雑誌』38(3,4)507-517,667-689

「黒川良安ら訳「越爾実幾模兒両先生経験書」の原書と原作者について」石田純郎『北陸医史』13(1)93-98

「再び『小児』全書について」石田純郎『啓迪』10 42-45

「草深甚四郎の伝書にしるされている「血留の法」とアンブローズパレの外科書に見られる「間接的皮膚縫合術」の伝来をうかがわせる「金瘡書」について」加藤豊明『北陸医史』13(1)42-51

「白隠慧鶴禅師「夜舟閑話」上の巻について」加藤豊明『北陸医史』13(1)59-68

「蓬左文庫の医学書」桐原千文『医学図書館』39(2)159-164

「『枕草紙』の中の医学」白崎昭一郎『北陸医史』13(1)52-58

「『医心方』と病草紙(抄)」杉立義一『日本医史学雑誌』38(2)290-292

「『口歯類要』質疑(抄)」杉本茂春『日本医史学雑誌』38(2)292-294

「天理図書館蔵プリニウス『博物誌』」瀬川清人『ビブリア』(98)160-167

「杉山三部書」の研究(その1)－成立について－(抄) 長岡靖彦、中島史、北村智、長尾栄一『日本医史学雑誌』38(2) 250-252

「杉山三部書」の研究(その2)－経穴と補瀉－ 長岡靖彦、中島史、長尾栄一『日本医史学雑誌』38(2)252-254

「『素問研』について(抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』38(2) 254-256

「『伊沢蘭軒』森鷗外直筆増訂稿本」の考察 山崎國紀『ビブリア』(98)58-91

29 小児科史

「小児の臓器移植 その概念、歴史と問題点」秋山暢夫『小児内科』24(2)153-155

「らばな説救療小児疾病経の紹介(抄)」大高興『日本医史学雑誌』38(2)297-299

「日本における小児糖尿病の歴史」新美仁男『Diabetes Journal(糖尿病と代謝)』20(3)120-124

「子供と医史学36 体質性黄疸(2)」深瀬泰旦『教育医事新聞』(89)18

「子供と医史学37-39 ヒトの成長の研究史(1)~(3)」深瀬泰旦『教育医事新聞』(90-92)18,14,13

「子供と医史学40-44 先天代謝異常症(1)~(5)」深瀬泰旦『教育医事新聞』(93,94,95,97,98)13,17,17,13,15

「子供と医史学45-46 脱水症の研究(1)~(2)」深瀬泰旦『教

育医事新聞』(99-100)9,10

「ニルス・ローゼン・フォン・ローゼンシュタインの小児科書(1),(2)」深瀬泰旦『科学医学資料研究』(220-221)8-12,5-12

「わが国における熱性けいれんの歴史」深瀬泰旦『小児内科』24(1)16-21

30 神経学史

「神経と免疫の臨床 重要なトピックス 神経免疫学の歴史」井形昭弘『Clinical Neuroscience』10(6)662-664

「やさしい神経生理学 自律神経系 研究の歴史(図説)」佐藤昭夫、鈴木はる江『Clinical Neuroience』10(6)612-613

31 診断学史

「超高速CT開発の歴史と将来展望」飯沼武『日本放射線技術学会雑誌』48(1)73-79

「腫瘍マーカーとその臨床の実際 腫瘍マーカーの歴史と展望」石井勝『Modern Physician』12(7)955-958

「マス・スクリーニングの意義と歴史」大浦敏明、長谷豊『日本医学会総会23回会誌』(3)323

「神経芽細胞腫マス・スクリーニング 歴史と現況」沢田淳『小児外科』24(1)9-12

32 整形外科史

「背部痛の歴史(会議録)(英文)」Jayson Malcolm I.V.『日

本脊椎外科学会雑誌』3(1)127
「滑膜切除術の歴史 各種滑膜切除術とその発展の背景」浅井富明, 長屋郁郎『骨・関節・靭帯』5(6)720-725
「整形外科を育てた人達(100) Harold Jackson Burrows (1902-1981)」天児 民和『臨床整形外科』27(1)60-62
「整形外科を育てた人達(101) Sir Ludwig Guttman (1900-1980)」天児民和『臨床整形外科』27(2)146-148
「整形外科を育てた人達(102) William Cheselden (1688-1752)」天児民和『臨床整形外科』27(3)294-296
「整形外科を育てた人達(103) Jacques-Malthieu Delpuch (1777-1832)」天児民和『臨床整形外科』27(5)614-616
「整形外科を育てた人達(104) 住田正雄教授(1879-1946)」天児民和『臨床整形外科』27(6)704-706
「整形外科を育てた人達(105) 小谷勉教授(1917-1976)」天児民和『臨床整形外科』27(7)816-819
「整形外科を育てた人達(106) Wilhelm Conrad von Roentgen (1845-1923)」天児民和『臨床整形外科』27(8)923-925
「整形外科を育てた人達(107) Antonius Mathijssen (1803-1878)」天児民和『臨床整形外科』27(9)1031-1033
「整形外科を育てた人達(108) 飯野三郎教授(1908-1978)」天児民和『臨床整形外科』27(10)1138-1141
「整形外科を育てた人達(109) Carlos E. Ottolenghi (1904-1984)」天児民和『臨床整形外科』27(11)1297-1299
「整形外科を育てた人達(110) Dallas Burton Phemister

(1882-1951)」天児民和『臨床整形外科』27(12)1360-1362
「第1回日本整形外科学会の写真1926(大正15)年4月3日午前9時25分の田代義徳先生」蒲原宏『整形外科』43(4)582-583
「四肢切断術・義肢 切断と義肢の歴史」武智秀夫『Orthopaedics』5(6)1-8

33 精神医学史

「日本精神医学風土記(第4部)(第6回)福井県」伊崎公德『臨床精神医学』21(7)1239-1248
「“mental illness”は「精神病」か」岡田靖雄『精神神経学雑誌』94(10)998-1000
「「精神医学」への手紙“moral treatment”考」岡田靖雄『精神医学』34(7)723
「断種法問題—その広がりを見取り図—(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』38(2)318-319
「精神科救急における外国人患者—処遇上の諸問題—」杉山章子, 岩波明, 荻野忠, 江畑敬介, 金子嗣郎『臨床精神医学』21(10)国際医書出版1641-1648
「精神科救急における外国人事例の実態」杉山章子, 岩波明, 荻野忠, 江畑敬介, 金子嗣郎『社会精神医学』15(3)星和書店213-218
「ロマン主義精神医学と自己像幻視Justinus Kernerの2つの記載をめぐって」濱中淑彦『精神医学』34(4)437-440
「癲狂主方 下氣圓引き札」『呉秀三先生記念精神科医療史資

料通信』(24)1-4
「『榊教授精神病学』(その1)」高嶺三吉『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(24)5-9
「精神病者書類集(その2)」榊俣報『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(24)10-17
「精神病者 取扱(完結)」川村貞四郎『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(24)18-21
「救治會パンフレット『精神病に関する常識及び精神病院入院の手引』(完結)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(24)22-32
「肥前療養所の開放制—廣瀬善美子元看護部長を囲んで—」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(24)付録
「木瓜原狂病院領収書」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)1
「高嶺三吉筆記『榊教授精神病学』(その2)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)2-6
「高嶺三吉のこと」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)7-8
「榊俣報『精神病者書類集』(その3)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)9-17
「大澤善三郎『新撰造化機論』」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)18-23
「関西私立精神病院協会建議案」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)24

「関東軍医軍部『診療ノ参考』外傷性神経症ニ就テ」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(25)25-34
「ホフマンによる『狂病治験』(1872年)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)1-6
「『きちがひ病院』広告(1882年)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)7
「高嶺三吉筆記『榊教授精神病学』(その3)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)8-16
「榊俣報『精神病者書類集』(完結)」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)17-27
「国府台陸軍病院入院精神神経系戦傷病一覽」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)28-30
「第三回関東精神医学懇談会シンポジウム『精神外科』」『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)31-35
「別刷『精神医学』への手紙“moral treatment”考」岡田靖雄『吳秀三先生記念精神科医療史資料通信』(26)付録

34 生物学史

「フットライト 染色体と遺伝子のはざま 第1回 遺伝学発祥の地をたずねて」飯野晃啓『ミクروسコピア』9(1)8-12
「フットライト 染色体と遺伝子のはざま 第2回 染色体が発見されて何が分ったか」飯野晃啓『ミクロスコピア』9(3)154-160
「医学の現代史と生物学」川喜田愛郎『科学史研究』(180)

256-260

「機械としてみた細胞—現代生物学史の一段面—」川喜田愛郎『科学医学研究資料研究』(213,214,216)1-8

「人と時代 免疫のふしぎ その一 免疫系は単なる生体防御機構か」谷口克『ミクروسコピア』9(1)14-19

35 西洋医学史

「診察術の歴史 アレテウス(紀元前200年)と診断学」Gude James K.『JIM』2(5)438-439

「一七世紀を中心としたオランダMD(内科医)の出身大学について—パドバ大学の影響の変遷—」石田純郎『医譚』(63)3763-3769

「ヨーロッパの新しい医史学会 その後」石田純郎『医譚』(62)3694

「古代ギリシャ医学とその思想史的展開 ヒポクラテス『古来の医術(De Vetere Medicina)』における「哲学論(フィロソフィア—)」批判をめぐって」今井正浩『科学史研究』(183)147-155

「狂気の石について 十五～十七世紀オランダ・フランドル地方の絵画に基づく一考察」酒井明夫『科学医学資料研究』(215)1-10

「ギリシャ医学と伝承13 ミュケーナイ文書に現れる薬用植物(9)」志田信男『日本ギリシャ協会会報』(62)10-11

36 生化学史

「生化学史における高木兼寛の位置 酵素学とビタミン学の劇的な出会いと近代生化学成立・発展」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』107(4)695-718

38 地方史

「明治十年石川県大区医務取締役医師について」赤祖父一知『医譚』(62)3707-3720

「幕末維新期の富山藩医学史・続編 富山藩西洋医学校の医師とその所在地について」赤祖父一知『医譚』(63)3751-3761

「大野藩の医学—大野藩の医家—」岩治勇一『北陸医史』13(1)69-92

「福井県人の誘導した西洋文化の啓蒙書」岩治勇一『日本医史学雑誌』38(1)121-132

「神奈川のコレラ」大滝紀雄『日本医史学雑誌』38(1)5-24

「アンブロアズ・パレ没後四百年祭を顧みて」大村敏郎『日本医史学雑誌』38(1)165-173

「明治4年新潟で起ったキング事件」小関恒雄『Act.Crim. Japon』58(3)85-92

「新潟県における洋学の系譜」蒲原宏『在村蘭学の展開』211-245

「伊勢松阪坂の入目入歯師(抄)」新藤恵久、長谷川弥『日本医史学雑誌』38(2)246-247

「京都における医史学研究史〔II〕」杉立義一『日本医史学雑誌』38(1)85-104

「北陸地域の医学史」多留淳文『日本医史学雑誌』38(1)49-83

「江戸時代、静岡県における蘭方医学の普及、特にその学統について」津田進三『日本医史学雑誌』38(1)25-47

「大阪国際交流センター周辺の医学史跡とあるエピソード」長門谷洋治『日本臨床皮膚科医学会 近畿支部会報』(6)11-13

「金沢大学医学部解剖学教室歴代教授の墓所と遺族」中村俊雄『北陸医史』13(1)21-25

「備前蘭学の開祖 児玉順蔵と漢蘭折衷医難波均節」中山沃『日本医史学雑誌』38(1)105-120

「医の資料館(10)愛知 瓊浦游紀 伊藤圭介記念室」西来武治『Medical News』(322)15-18

「医の資料館(11)愛媛 文明開化への先駆者 開明学校・二宮敬作資料」西来武治『Medical News』(323)15-18

「医の資料館(12)東京・青梅 医学文化財の宝庫・医学文化館」西来武治『Medical News』(324)14-17

「医の資料館(13)奈良 薬草へのこだわり・大和売薬資料館」西来武治『Medical News』(325)14-17

「医の資料館(14)京都・木屋町 源遠流長・島津創業記念資料館」西来武治『Medical News』(326)14-17

「医の資料館(15)山形 一本の道とほりたり・旧済生館本館と齋藤茂吉記念館」西来武治『Medical News』(327)15-18

「〔因伯における牛痘接種の初め〕補遺—原田永寿備忘録—」森納『日本医史学雑誌』38(3)501-505

「因伯の蘭学事始」森納『鳥取県医師会報』(439-442)25-28, 37-39, 31-33, 22-25

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その47)・(その48)」森重孝『鹿児島市医報』31(2,3)37-39, 37-38

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その49)」森重孝『鹿児島市医報』31(9)61-65

「郷土医史 明治の鹿児島医学史(その50)」森重孝『鹿児島市医報』31(11)48-51

「『金瓶梅』にみられる中国医学」吉元昭治『日本医史学雑誌』38(1)133-163

39 治療史

「レーザー医学の歴史と進歩」渥美和彦『治療学』26(4)527-537

「カルシトニンの歴史と展望(総説)」折茂肇、水野有三『Clinical Calcium』2(9)1228-1230

「インターフェロンの歴史(1)」岸田綱太郎『BIO medica』7(7)772-776

「高気圧治療の歴史を顧みて その興亡に何を学ぶか(会議録)」榎原欣作『日本高気圧環境医学会雑誌』27(1)14

「テーピングの歴史と概念」鹿倉二郎『Orthopaedics』5(2)1-8

「骨移植の基礎と臨床 基礎編 骨移植の歴史と展望」杉岡洋一『形成外科』35(2)119-124

「ペースメーカーの基礎と実際 ペースメーカー療法の発展史」須磨幸蔵『ハートナーシング』5(5)443-447

「人工心臓と心臓移植の進歩 循環器病診療における役割 人工心臓開発の歴史と現況」高野久輝、木下正之『ハートナーシング』5(1)70-76

「透析療法における抗凝固療法の歴史と将来展望」高橋幸雄『腎臓』15(1)1-12

「子宮癌放射線治療の歴史(3)」館野之男『放射線科学』35(2)48-51

「子宮癌放射線治療の歴史(4)」館野之男『放射線科学』35(4)118-122

「食物繊維の歴史と臨床応用」土井邦紘『治療学』26(9)1149-1159

「人工心臓と心臓移植の進歩 循環器病診療における役割 心臓移植研究の歴史と現況」中島淳、進藤剛毅、古瀬彰『ハートナーシング』5(1)78-84

「わかりやすい成分別栄養管理 治療食の歴史と成分別栄養管理の意義」中村丁次『臨床栄養』81(1)73-79

「治療の歴史 透析液カルシウム濃度の変遷」中村義弘、秋葉隆『治療学』26(6)787-790

「悪性脳腫瘍に対する養子免疫療法の歴史と展望」新田泰三『脳と神経』44(7)605-613

「サイトカイン療法 悪性脳腫瘍に対する養子免疫療法の歴史と展望」新田泰三、佐藤潔『診断と治療』80(6)987-992

「糖尿病治療の歴史と将来」平田幸正『臨床と研究』69(1)1-6

「輸液療法のあゆみ」深瀬泰旦『川崎市小児科医会々誌』(24)11-24

「治療の歴史 抗酸化剤」福沢健治『治療学』26(5)651-659

「治療の歴史 アトピー性皮膚炎」藤岡彰、西山茂夫『治療学』26(8)1029-1032

「熱中症予防薬と食塩(抄)」三浦豊彦『日本医史学雑誌』38(2)242-244

「カルシトニンの歴史と展望」水野有三、折茂肇『THE BONE』6(1)25-27

「治療の歴史 頻脈性不整脈の非薬物療法」三井利夫、堀原一『治療学』26(3)399-402

「胆嚢筋腺腫症の概念と歴史」武藤良弘『腹部画像診断』12(4)243-247

「骨髄移植の歴史」矢田純一『小児内科』24(2)247-252

40 伝 記

「会田求吾の『紅毛医言』について」長与健夫『日本医史学雑誌』38(3)487-499

「浅井弁安(豊橋)遺稿 御出入医以来諸事書留(嘉永七寅年—安政三年辰年)(御出入医拜命と諸儀礼)(1854-1856)」竹内孝一『現代医学』39(3)581-595

「病気日本史 歴史上の人物と病気 足利義教と“うつ病”」
中島陽一郎『薬の知識』43(1)16-17

「病気日本史 歴史上の人物と病気 足利義栄と腫物」中島
陽一郎『薬の知識』43(3)20-21

「病気日本史 歴史上の人物と病気 足利義政と中風」中島
陽一郎『薬の知識』43(2)16-17

「先達医家の肖像(43) Victor Adler(1852-1918)」酒井シヅ
『Medical Digest』(319) 卷末

「アヴィセンナ『医学の歌』7・8」志田信男『伝承と医学』(7,8)
4-15, 4-7

「歴史閑話 尼子富士郎 わが国老年医学の生みの親」深瀬
泰旦『MEDIC』27(6) 表紙, 表2

「飯沼長蔵の晩年の職歴について」遠藤正治『慾齋研究会だ
より』(56)7

「嘉永期の飯沼慾齋II」遠藤正治『慾齋研究会だより』(57)
6-7

「慾齋の生薬における思想」井波一雄『慾齋研究会だより』
(57)2-5

「<名医列伝> 医学校と侍医の制度を確立 池田謙齋」蔵方宏
昌『ばんぼう』(128)146-147

「<名医列伝> 国際的「色盲検査表」を発明 石原忍」蔵方宏昌
『ばんぼう』(135)146-147

「幕末・紀州華岡青洲門に学んだ鹿瀬組船渡村の医師伊藤友
仙の見学日記」蒲原宏『阿賀路』(30)1-14

「<名医列伝> 医科大学で最初に医学史を講義した漢方医 今
村了庵」蔵方宏昌『ばんぼう』(133)146-147

「先達医家の肖像(41) George Fernand Isidore Widal(1862
-1929)」酒井シヅ『Medical Digest』(317) 卷末

「先達医家の肖像(44) Rudolf Ludwig Carl Virchow(1821
-1902)」酒井シヅ『Medical Digest』(320) 卷末

「歴史閑話 美濃蘭学の雄 江馬蘭齋」深瀬泰旦『MEDIC』
27(7)表紙、表2

「病気日本史 歴史上の人物と病気 正親町天皇と中風」中
島陽一郎『薬の知識』43(7)20-21

「先端医療への闘い 種痘の始祖, 緒方春朔(会議録)」富田
英寿『日本薬学会112年会講演要旨集』(4)292-293

「<名医列伝> 衛生学の育成と発展に尽力 緒方正規」蔵方宏
昌『ばんぼう』(137)146-147

「かつて慈恵に在学した興味ある人物(その四) 慈恵病院女
医第一号・ドクター岡見京子」松田誠『東京慈恵会医科大学
雑誌』107(2)295-302

「<名医列伝> 近代の鍼灸復興の原動力を作った漢方医 岡本
一抱子」蔵方宏昌『ばんぼう』(132)146-147

「小野玄入(抄)について」本山佐太郎『日本歯科医史学会々
誌』18(2)86-87

「胸・腹部外科学、麻酔科学研究の先駆者 尾見薫」藤田俊
夫『医譚』(63)3775-3785

「病気日本史 歴史上の人物と病気 蒲生氏郷と癌」中島陽

一郎『葉の知識』43(9)20-21
「〈名医列伝〉眼科専門医の育成に尽力 河本重次郎」蔵方宏昌『ばんぼう』(134)154-155
「美濃大垣の名医 北尾春圃」安井広迪『漢方の臨床』39(9)1189-1211
「胃内視鏡の発達と桐原真一教授の業績」近藤達平『外科』54(1)77-82
「循環器疾患研究を支えた人々 呉建1883～1940年」上田英雄『Cardiac Practice』3(2)214-216
「加越能文庫に見られる医事史料(一)黒川良安関係史料(上)」正橋剛二『北陸医史』13(1)11-20
「歴史閑話 十万人種痘達成の悲願をいただいた桑田立斎」深瀬泰旦『MEDIC』27(1)表紙,表2
「桑田立斎が配布した種痘啓蒙版画の改定版について」正橋剛二『医譚』(62)3701-3705
「小石元瑞の温泉論」宗田一『医譚』(63)3739-3743
「先達医家の肖像(45) Robert Koch(1843-1910)」酒井シヅ『Medical Digest』(321)巻末
「歴史閑話 小森玄良 京都蘭学界の巨星」深瀬泰旦『MEDIC』27(5)表紙、表2
「歴史閑話 日本婦人科学会会長に就任した在野の医師 佐伯理一郎」深瀬泰旦『MEDIC』27(3)表紙表2
「佐伯理一郎と京都(四)一近畿婦人科学会など」長門谷洋治『啓迪』(10)49-54

「第三高等学校医学部教授坂田快太郎の留学通信(抄)」小野皓二『日本医史学雑誌』38(2)267-268
「医人伝 佐藤邦雄」江川義雄『広島医学』45(6)1049-1050
「練堀町時代の佐藤尚中」大滝紀雄『日本医史学雑誌』38(2)271-272
「講演 千葉県の生んだ名医“佐藤尚中”」酒井シヅ『全国医師国民健康保険組合連絡協議会記録』39-50
「〈名医列伝〉ドイツで最初に学位を取得した外科医 佐藤進」蔵方宏昌『ばんぼう』(131)146-147
「外科の守護聖人サン・コムとリュザルシュ村の教会(抄)」大村敏郎『日本医史学雑誌』38(2)311-312
「Ph.Fr.フォン・シーボルト晩年の書翰『プエルツブルグからの公開状』(一八六四年八月一日)ーオランダの内務大臣宛に書いた日本植物収蒐集に関する書翰(2)」石山禎一『鳴滝紀要』(2)55-97
「シーボルト雑記帖(60)～(62)シーボルトの知人 間宮林蔵(VII)～(IX)」吉岡達夫『薬事報あさひ』1(1-3)24-26
「シーボルト雑記帖(63)～(68)シーボルトの門下生 伊藤圭介(I)～(VI)」吉岡達夫『薬事報あさひ』1(4-9)24-26
「シーボルト雑記帖(69)～(71)シーボルトの門下生 高野長英(I)～(III)」吉岡達夫『薬事報あさひ』1(10-12)24-26
「武田氏旧蔵『高橋一件』についてー他のシーボルト事件関係史料との比較を中心にー」沓沢宣賢『鳴滝紀要』(2)98-122
「シーボルトと長崎の植物」山田重人『鳴滝紀要』(2)44-54

「フィリップ・フランツ・フォン・ジーボルトの幼年及び青年時代 一七九六年～一八二〇年」ヴェルナー・デッテルバッハ 宮坂正英『鳴滝紀要』(2)13-43

「ブランデンシュタイン＝ツェッペリン家資料にみる『日本』出版の課程と其扇・いね宛シーボルト書簡」福井英俊『鳴滝紀要』(2)123-138

「診察術の歴史 トーマス・シデナム イギリスのヒポクラテス」Gude James K. 『JIM』2(11)1020-1021

「島邨俊一小伝—悲運の精神病患者—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』38(4)603-636

「清水耕一小伝—とくにその著『新撰看護學 附精神病看護學』の位置づけ—」岡田靖雄『日本医史学雑誌』38(3)433-470

「Jean-Martin Charcotの火曜講義とその日本語版の成立」江口重幸『精神医学』34(1)97-104

「〈名医列伝〉日本に防腐法を広めた外科医 シュルツ」蔵方宏昌『ばんぼう』(127)154-155

「歴史閑話 京都蘭学の雄 新宮涼庭」深瀬泰旦『MEDIC』27(2)表紙,表2

「新発見 河口良庵著「阿蘭陀語」帖から」川島恂二『古河市医師会報』(24)1-9

「〈名医列伝〉本草分類法の基を作った薬物学者 陶弘景」蔵方宏昌『ばんぼう』(129)150-151

「スメタナの疾病とその起因論争」飯田収、仙石潜『耳鼻咽喉科展望』35(4)327-332

「関場不二彦の事跡(1) —開業初期の病院経営—(抄)」吉田信、島田保久、津田晴美、松木明知『日本医史学雑誌』38(2)232-234

「人と時代セルトリとセルトリ細胞」永野俊雄『ミクروسコピア』9(3)170-173

「鍼灸老舗の人々30-31 その五 辰井文隆1・2」上地栄『医道の日本』51(11,12)157-161,159-162

「先達医家の肖像(42) Julius Tandler(1869-1936)」酒井シヅ『Medical Digest』(318)巻末

「衛生学者坪井次郎の経歴と業績」泉彪之助『日本医史学雑誌』38(3)401-431

「イザーク・ティツィング「長崎商館の秘密日記1782年～83年」—本商館に生じた諸事件にする特別の記録—」栗原福也『東京女子大学社会学会紀要』(20)1-40

「皮膚科学者土肥章司」長門谷洋治『北陸医史』13(1)35-41

「十束井齋の洋学者としての一面」舟木茂夫『静岡県医史学懇話会会誌』(7)2-9

「Florence Nightingaleへの招待」長門谷洋治『日生看護専門学校創立30周年記念誌』49-54

「長崎浩齋の年譜と系譜」寺畑喜朔『北陸医史』13(1)4-10

「和蘭医事問答」の稿本「瘍医問答」について 「西洋マッサージの開祖長瀬時衡」補遺」中山沃『洋学資料による日本文化史の研究』(5)21-30

「日本の脳研究者たち 中田瑞穂1893-1975年」生田房弘

『Brain Medical』4(2)240-246
「鍼灸老舗の人々24-29 その四 長門谷貫之助1-6」上地栄
『医道の日本』51(5-10)149-153,140-143,160-165,
153-158,152-155,157-161
「『道中人馬帳 小森殿役所 中村荘正』について」岩治勇一
『啓迪』(10)23-26
「野口英世の医術開業試験(抄)」石原理年『日本医史学雑誌』
38(2)326-328
「長岡の生んだ医学者・政治家—長谷川泰伝—(基の一)・(基
の二)」唐沢信安『長岡郷土史』(28,29)120-137,94-112
「<名医列伝>神経症候学を大成 パパンスキー」蔵方宏昌『ば
んぶう』(136)146-147
「歴史閑話 国禁をおかしてまでも新しい技術を追求した
土生玄碩」深瀬泰旦『MEDIC』27(9)表紙、表2
「歴史閑話 薬物学を体系づけた 林洞海」深瀬泰旦
『MEDIC』27(8)表紙、表2
「古典の窓から『ヒポクラテス全集』から」酒井シヅ『ター
ミナルケア』2(7)460-461
「平賀源内と芒消—伊豆鈴木家資料を中心として—」土井康
弘、竹内博、大沢眞澄『科学史研究』(182)71-80
「外科の歴史 ヒルシュスブルングと腸重積の高圧注腸整
復」川満富裕『外科』54(3)277-280
「藤野恒三郎逝く」長門谷洋治『日本医史学雑誌』38(4)
663-665

「古典あれこれ ジフテリアと闘ったBretonneau」犬山征夫
『Johns』8(10)1490-1492
「<名医列伝> 大脳の運動性言語中枢を発見 プロカ」蔵方宏
昌『ばんぶう』(138)126-127
「史伝「星 一」言語録(その3) 星 一の哲学」三澤美和『葉
史学雑誌』27(2)109-116
「日蘭史断章(51)近代医学の真髄を教えたポンペ」酒井シヅ
『ウインドミル』(63)26-27
「<名医列伝> 顕微鏡学的解剖学の創始者 マルピギョ」蔵方
宏昌『ばんぶう』(130)146-147
「日本の脳研究者たちIX 三浦謹之助1864-1950年」安藝基雄
『Brain Medical』4(1)121-128
「メンデルの生地を訪ねて(会議録)」飯野晃啓『解剖学雑誌』
67(2)150
「山本忠孝—北京における魯迅の主治医—(抄)」泉彪之助『日
本医史学雑誌』38(2)322-323
「山本榕堂『日省簿』(弘化元年)」遠藤正治『実学研究』
(8)181-228
「鍼灸老舗の人々21-23 その三 吉田多市9-11」上地栄『医道
の日本』51(2-4)128-132,141-145,142-147
「吉田長淑と掛川藩」津田進三『静岡県医史学懇話会会誌』
(7)15-18
「ヨンケル招聘の経緯」横田穰『啓迪』(10)46-48
「古典あれこれ ナポレオン皇帝付き医官Dominique Jean

- Larreyの生涯と仕事」犬山征夫『Johns』8(11)1664-1667
- 「米国長老教会婦人宣教師ミス・リードの日本における活動(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』38(2)308-310
- 「アルブレヒト・フォン・ローレツについて ボデイ・ランゲージの悲喜劇—ローレツ傷害事件—」田中英夫『名古屋医史談話会会報』(8)1-7
- 「アルブレヒト・フォン・ローレツ考(四)」田中英夫『名古屋大学史紀要』(3)1-116
- 41 伝記(双伝)
- 「一井正典とドクトルヴァンデンボルグ(抄)」渋谷敦、松本晋一『日本医史学雑誌』38(2)238-239
- 「医心伝診17 井上眼科の系譜」みどりの編集部『みどり』7(1)20-21
- 「英国医学とドイツ医学(上)W・ウィリスと相良知安の生涯」佐藤八郎『日本医事新報』(3555)49-51
- 「ウイルヒョウと精神科医たち(抄)」梶田昭『日本医史学雑誌』38(2)316-317
- 「小野蘭山・蕙畝の日記にみる医学館の本草講書と薬品会(抄)」遠藤正治『日本医史学雑誌』38(2)211-213
- 「月舟寿桂(幻雲)の医界における交友関係(抄)」小曾戸洋、森田傳一郎、水沢利忠『日本医史学雑誌』38(2)275-276
- 「医療記録と医史学 ジェンナーとパストゥールを巡って(会議録)」大村敏郎『診療録管理』4(3)20-23
- 「関口家ハインリッヒ資料の研究2 研究と交流の紹介及び文書資料」関口忠志『鳴滝紀要』(2)139-166
- 「近代中国における宣教師女医の活動について(抄)」三崎裕子『日本医史学雑誌』38(2)313-314
- 「長崎家所蔵の医学関係刊本目録」寺畑喜朔『医譚』(63)3771-3773
- 「帝国女子医専創設者額田豊・晋兄弟の医家系譜(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』38(2)269-271
- 「ハンディングとベストの実験室」古川明『杉医春秋』(70)40-45
- 「Hirschberg来日に会いし医師達(抄)」奥沢康正、ユルゲン・コバチ『日本医史学雑誌』38(2)339-340
- 「松下見林とその師古林見宣」岡田安弘『啓迪』(10)31-36
- 「世羅郡の先人たち 水野玄鳳(続)と神植元鳳兄弟について」江川義雄『広島医学』45(2)310-314
- 「府立大阪医科大学は大阪帝国大学医学部へ、歯科学弓倉繁家教授・薬科学世良好太教授(抄)」中室嘉裕『日本医史学雑誌』38(2)279-281
- 「竹原地区の先覚者たち 頼春風などについて一(抄)」江川義雄『日本医史学雑誌』38(2)273-274
- 「ワグネルと島津源蔵」下総高次『日本歯科医史学会々誌』18(2)110

43 東洋医学史

「漢方史探訪35・36」赤堀昭『小太郎漢方News』(1・2,5・6)

「漢方史探訪38 医心方」赤堀昭『小太郎漢方News』(11,12)

「鍼灸経穴名考証の試み—穴名同語の出典と用法—(抄)」岩井佑泉『日本医史学雑誌』38(2)256-258

「『素問』・『靈枢』における脾の生理作用—蘭方医学との比較—」遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』38(4)637-646

「新中国における活血化瘀剤の発展の歴史と血瘀証の診断基準について」小野正弘『和漢薬』(466)4-7

「『類聚方広義』散見 その五」笠原栄司『漢方の臨床』39(8)1060-1062

「漢方史景44-54 カゼ症侯群(11)-(21)」蔵方宏昌『漢方診療』11(1-11)20,45,18,19,21,21,38,45,42,46

「漢方処方研究 黄連解毒湯—広がる応用範囲」蔵方宏昌『こちら』(17)3-6

「漢方古典文献概説 明代の医学書(その3)」小曾戸洋『現代東洋医学』13(3)404-411

「目でみる漢方史料館(47)医祖神像二幅」小曾戸洋『漢方の臨床』39(1)2-4

「目でみる漢方史料館(48)馬王堆漢墓(1)一号墓の屍体と薬物」小曾戸洋『漢方の臨床』39(2)138-140

「目でみる漢方史料館(49)馬王堆漢墓(2)三号墓の医書」小曾

戸洋『漢方の臨床』39(3)346-348

「目でみる漢方史料館(51)『漢書』芸文志の方技書」小曾戸洋『漢方の臨床』39(5)618-620

「目でみる漢方史料館(52)『黄帝内経明堂』の最古鈔本(重文)」小曾戸洋『漢方の臨床』39(6)744-746

「目でみる漢方史料館(54)内藤湖南旧蔵の『靈枢』最善本」小曾戸洋『漢方の臨床』39(8)992-994

「目でみる漢方史料館(57)古鈔本『素問』宮内庁書陵部所蔵」小曾戸洋『漢方の臨床』39(11)1364-1366

「古典にみる砒鍼の臨床的意義について(抄)」坂本秀治、市川太郎『日本医史学雑誌』38(2)258-260

「中国新刊の日本関連古医籍—最近約十年の復刻書より—」肖衍初、真柳誠『漢方の臨床』39(11)1431-1444

「幻に終わった国際連盟の漢方薬研究(第二報)—漢方薬研究の決議が日本で引き起こした反響(抄)」津谷喜一郎『日本医史学雑誌』38(2)218-220

「関根家所蔵療治十九方について(抄)」西巻明彦、新藤恵久『日本医史学雑誌』38(2)222-223

「日本における“変蒸”の変遷について(会議録)」広田暉子『Cardiac Practice』3(2)285-287

「日本における“変蒸”の変遷について(抄)」広田暉子『日本医史学雑誌』38(2)285-287

「目でみる漢方史料館(55)『蒲桃図説』の銅版彩色図」松田清『漢方の臨床』39(9)1128-1130

「中国に保存される日本伝統医学文献の孤本(抄)」真柳誠、関信之、肖衍初、森田傳一郎『日本医史学雑誌』38(2)215-217

「目でみる漢方史料館(50)『本草綱目』の初版(金陵本)」真柳誠『漢方の臨床』39(4)474-476

「目でみる漢方史料館(53)江戸本草学の大家・稲生若水の墓誌」真柳誠、杉立義一『漢方の臨床』39(7)864-866

「目でみる漢方史料館(56)現存唯一無二の『医方類聚』初版宮内庁書陵部に蔵せられる朝鮮古活字本」真柳誠『漢方の臨床』39(10)1248-1250

「目でみる漢方史料館(58)喜多村直寛による『医方類聚』の復刊」真柳誠『漢方の臨床』39(12)1488-1490

「尾台存義著『類聚方広義翼』について」南利雄『漢方の臨床』39(8)1052-1059

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(4)京都妙満寺浅井家三代の墓」矢数道明『漢方の臨床』39(1)87-91

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(5)『皇漢医界』バックナンバー—南拝山翁と朝比奈博士の写真」矢数道明『漢方の臨床』39(2)310-312

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(6)朝井家累代の墓前に新しい報告を」矢数道明『漢方の臨床』39(3)432-435

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(7)脚気に対する麦食問題で陸海軍軍医部の対立 遠田澄庵と森鷗外の姻戚関係」矢数道明『漢方の臨床』39(4)567-570

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(8)春陽堂と漢方医学

—第1回東亜医学協会表彰—」矢数道明『漢方の臨床』39(5)694-696

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(10)張仲景画像の鑑定をめぐって」矢数道明『漢方の臨床』39(9)1212-1214

「温知荘雑筆 日本漢方現代史余話(11)(12)「東西両医学の特質比較対照表」のできるまでの経過(1)(2)」矢数道明『漢方の臨床』39(10,11)1324-1326,1445-1447

「漢方の来た道」矢内原昇『ミクロスコピア』9(4)227-230

「黄帝内経 中国医学の形成過程」山田慶兒『医道の日本』51(2,3)76-82,90-96

「古代中国医学と道教 中国医学のルーツの一つとして道教に関するノート(その3)」吉元昭治『東洋医学』20(1)67-76

「第1回国際中国医学史会議に出席して」吉元昭治『漢方の臨床』39(10)1332-1333

「中国医学と道教(VII韓国医書について)(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』38(2)209-211

「[道教医学]の提唱」吉元昭治『漢方の臨床』39(4)540-551

44 内 科 史

「循環器疾患とQuality of Life QOL評価法開発の歴史」萱場一則、五十嵐正紘『循環科学』12(8)756-759

「腹腔鏡の歴史」韓一秀、森岡恭彦『手術』46(9)1179-1181

「アレルギー病をどう治療するか アレルギーの考え方 歴史と現在」小林節雄『臨床と研究』69(5)1337-1340

「循環器病学の歴史1 Theophile Bonet(1620-1689)とSepulchretum sive Anatomia Practica 墓場：実用解剖学」酒井シヅ『循環』(124)表2

「循環器病学の歴史2 Stephen Hales(1677-1761)と血圧測定」酒井シヅ『循環』(125)表2

「循環器病学の歴史3 打診法の発明者 Joseph Leopold Auenbrugger (1722-1809)」酒井シヅ『循環』(126)表2

「循環器病学の歴史4聴診器の発明 Rene Theophile Hiacinte Laennec (1781-1826)」酒井シヅ『循環』(127)表2

「循環器病学の歴史5 狭心症と William Heberden (1710-1801)」酒井シヅ『循環』(128)表2

「循環器病学の歴史6 循環器病の臨床の先駆者 William Stokes (1804-1878)酒井シヅ『循環』(129)表2

「循環器病学の歴史7 Bouillaud症候群の Jean Baptiste Bouillaud (1796-1881)」酒井シヅ『循環』(130)表2

「循環器病学の歴史8 X線を発見した Wilhelm Conrad Rontgen (1845-1923)」酒井シヅ『循環』(131)表2

「循環器病学の歴史9 心電図系を発明した Willem Einthoven (1860-1927)」酒井シヅ『循環』(132)表2

「循環器病学の歴史10 心臓カテーテルの実験を行った Werner Forssman (1904-1979)」酒井シヅ『循環』(133)表2

「喘息の歴史閑話1・2「喘息」“Asthma”定義(1)・(2)」酒井シヅ『喘息』5(2,3)123,129

「心と身体の医学 心身医学の歴史と展望」白倉克之『薬局』43(10)1521-1524

「ホルモン測定法の歴史」吉田尚『ホルモンと臨床』40(4)353-356

45(2) 泌尿器科史

「日本泌尿器科臨床史(10) 腎移植と三輪徳寛」友吉唯夫『臨床泌尿器科』46(1)76-77

「日本泌尿器科臨床史(11)～(13) 日本における尿石成因論の近世史(その1)～(その3)」友吉唯夫『臨床泌尿器科』46(2,3,4)166-167,260-261,350-351

「日本泌尿器科臨床史(14)～(16) 高野長英と泌尿器科学(その1)～(その3)」友吉唯夫『臨床泌尿器科』46(5,6,7)438-439,530-531,622-623

「日本泌尿器科臨床史(17)～(18) 日本における前立腺の認識史(その1)～(その2)」友吉唯夫『臨床泌尿器科』46(8,9)714-715,802-803

46 病院史

「明治初期の病院の新聞記事(その三)」土屋重朗『静岡県医学史懇話会会誌』(7)10-14

「長崎県医療社会事業史(20)小島養生所の部屋割り」中西啓『MEDICAL SOCIAL WORK』(25)4-5

49 風俗史

- 「日本民族論への試み ここに、アイヌ古語あり、秋うらら、四万十 秘境」杉本茂春『臨牀歯科』(339)43-48
- 「日本民族論への試み 日本民族成立の謎」杉本茂春『臨牀歯科』(339)38-42
- 「日本民族論への試み 猿神とは、だれ?(宇治捨遺物語119 今昔物語26-7)」杉本茂春『臨牀歯科』(339)31-37
- 「群馬県沼田市の石仏と民間信仰について(抄)」湯浅高之、藤野珣男、屋代正幸『日本医史学雑誌』38(2)228-229

50 仏教医学史

- 「古代インドにおける診断学」Gude James K. 『JIM』2(3)253
- 「仏典とシュルタ本集にみられる酒の評価」杉田暉道『日本医史学雑誌』38(4)655-661

52 放射線医学史

- 「断層画像の歴史と今後の展望」木村和衛『断層映像研究会雑誌』18(2)89-94
- 「X線像の計算機診断 歴史と現状」鳥脇純一郎『MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY』10(1)1-11

53 本草学史・博物学史

- 「曲直瀬玄朔『食性能毒』における『本草綱目』の取得(抄)」加藤伊都子、真柳誠『日本医史学雑誌』38(2)213-215
- 「我が国の印葉図譜について」河村典久『愍齋研究会だより』(59)2-8
- 「植物図譜と私 I」木村陽二郎『愍齋研究会だより』(56)2-6
- 「幾何学、リベラルアーツと博物学(抄)」柴田幸雄『日本医史学雑誌』38(2)277-278
- 「宇田川榕菴筆写「ジャックヴィーン植物学入門書」に見られる独語和訳」高橋輝和『洋学資料による日本文化史の研究』(V)17-20
- 「Huebotter博士の本草研究」安田純一『医譚』(63)3745-3750

54 麻醉学史

- 「麻醉学書誌学的研究(第6報)―“Dental Materia Medica”にみられる麻醉に関する記述―(抄)」石橋肇、渋谷敏、小池陽一郎、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』18(2)91-92
- 「局所麻醉は誰が始めたか」中原泉『日本歯科医史学会々誌』18(2)64-69
- 「局所麻醉は誰が始めたか(抄)」中原泉『日本歯科医史学会々誌』18(2)90-91
- 「華岡青洲の麻醉薬通仙散に関する実験的研究(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』38(2)236-237

55 門人録

「二世芸叟先生門人籍—山脇玄脩門人帳—」竹下喜久男『佛敎大学学会文学部論集』(77)77-95

「藤林普山とその子孫、門人録」森納『日本医史学雑誌』38(4)541-581

「藤林普山門人録と鳥取藩、土佐香橘」森納『啓迪』(10)37-41

56 薬学史

「岸田吟香と新聞の薬広告」天野宏、川淵美奈子、田中淑子、斉藤明美、杉原正泰『薬史学雑誌』27(2)102-108

「日本と西洋の薬文化比較」天野宏、川淵美奈子、田中淑子、斉藤明美、杉原正泰『薬史学雑誌』27(2)65-71

「肝油の産業技術史的研究(1)—日本における肝油の伝来と製造起源」小野忠義『技術と文明』7(2)1-23

「着色科生薬の本草学的研究(第1報)狼把草」清水孝重、井上健夫、水野端夫、戸妍『薬史学雑誌』27(2)55-64

「Insulinおよびその製剤に関する薬局方の史的考察(その3)魚類のInsulinについて」末廣雅也『薬史学雑誌』27(1)32-39

「薬の歴史のとらえ方(11)蘭学の勃興—宇田川家と薬物書」宗田一『薬史学会通信』(15)3-5

「将軍吉宗をめぐる紀州下りの医薬人(抄)」宗田一『日本医史学雑誌』38(2)225-226

「近代フランスにおける薬学教育」辰野高司『薬史学雑誌』

27(1)1-12

「クリニカル・ファーマシーの歴史と思想(第5報)(会議録)」辰野美紀『日本薬学会112年会講演要旨集』(4)289

「薬の携帯とその容器の史的研究(7)包装の技術(江戸時代)」服部昭『薬史学雑誌』27(1)50-53

「薬の携帯とその容器の史的研究(8)包装による情報伝達(江戸時代)1包み紙」服部昭『薬史学雑誌』27(2)72-77

「薬の携帯とその容器の史的研究(9)包装による情報伝達(江戸時代)2能書き」服部昭『薬史学雑誌』27(2)78-82

「クモ類の民族薬物学的研究(第2報)日本の薬用クモ類の種類」浜田善利、吉倉真『薬史学雑誌』27(1)13-19

「『豊後国之内熊本領産物帳』所蔵の薬物植物の研究(第1報)木類に由来する薬用植物の研究」浜田善利『薬史学雑誌』27(1)26-31

「史料『豊後国之内熊本領産物帳』所蔵の薬物植物の研究(第2報)草類に由来する薬用植物の研究」浜田善利『薬史学雑誌』27(2)117-124

「日本薬局方に見られる塩酸コカイン規格、試験法の変遷」松本仁人、山田光雄『薬史学雑誌』27(1)20-25

「土砂対ハレの医薬品セット—Waisenhaus薬局の製薬事業—」安田純一『医譚』(62)3695-3700

「日本薬局方に見られる向精神・神経薬の変遷(その4)JP I~Vにおけるカノコソウ(纈草)の規格・試験法の変遷ならびに米国・英国薬局方との対比について」柳沢清久『薬史

学雑誌』27(1)40-49

「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その5)JPVI
～XIIにおけるカノコソウ(纈草)の規格・試験法の変遷」
柳沢清久、山田光男『薬史学雑誌』27(2)96-101

「近代日本医薬品産業の発展(その3)明治19年1886初版日本
薬局方(JP I)公布より明治39年(1906)第3改正日本薬局
方(JP III)公布までの医薬品事情」山田久雄『薬史学雑誌』
27(2)83-95

57 蘭学史

「十八世紀オランダの医療界の構造と蘭学(抄)」石田純郎『日
本医史学雑誌』38(2)302-303

「十八世紀ヨーロッパの医療構造と蘭学—医史跡からの検証
—」石田純郎『実学史研究VIII』29-66

「蘭領インドの医療」石田純郎『洋学資料による日本文化史
の研究』(5)31-42

「蛮書和解御用創始の経緯をめぐって」沼田次郎『日本歴史』
(524)95-109

59 その他

「イムノアッセイの歴史におけるアマライトシステムの位置
づけ(英文)」Holian John『医学と薬学』27(2)301-303

「日本における中世期の統計学の進歩並びに19世紀の統計学
論争に関する歴史的考察(英文)」Iibuchi Yasuo, Katoh

Tanekatsu, Kagamimori Sadanobu,外1名『琉球医学会
誌』12(2)117-129

「医学の社会科学・人文学」川喜田愛郎『北里大学医学部20
周年記念シンポジウム「医学部・大学病院の新しい充実を
求めて」』52-69

「図法師と胴人形」酒井シヅ『図書』(522)18-21

「バランス重視の身体・健康観」酒井シヅ『ACCESS』7(6)13-14

「表紙のことは 19世紀前半のパリの病理解剖学」酒井シヅ
『手術』45(11)

「魔除け」酒井シヅ『クリニシアン』39(1)2-4

「今月の誌上ギャラリー パピルス「死者の書」」酒井シヅ『循
環科学』12(1)巻末

「今月の誌上ギャラリー The Sick Girl」酒井シヅ『循環科
学』12(2)巻末

「今月の誌上ギャラリー 中世の西洋解剖」酒井シヅ『循環
科学』12(3)巻末

「今月の誌上ギャラリー ジギタリス(狐の手袋)」酒井シヅ
『循環科学』12(4)巻末

「今月の誌上ギャラリー 瀉血」酒井シヅ『循環科学』12(5)
巻末

「今月の誌上ギャラリー キモグラフィ—」酒井シヅ『循環
科学』12(6)巻末

「今月の誌上ギャラリー 心臓の解剖図」酒井シヅ『循環科
学』12(7)

「今月の誌上ギャラリー 修道院の思索」酒井シヅ『循環科学』12(8)巻末
「今月の誌上ギャラリー 菜葉の図」酒井シヅ『循環科学』12(9)巻末
「今月の誌上ギャラリー 脳卒中」酒井シヅ『循環科学』12(10)巻末
「今月の誌上ギャラリー ライシュの心臓解剖図」酒井シヅ『循環科学』12(11)巻末
「今月の誌上ギャラリー 聖母マリアの死」酒井シヅ『循環科学』12(12)巻末
「古医学資料の整理と利用」白井裕子『医学図書館』39(1)40-44
「歯へん漢字「かむ」曼陀羅(1)・(2)」杉本茂春『臨床歯科』(338,339)29-36,18-23
「幕府医官の年賀式(年改御礼)」宗田一『医譚』(62)3689-3693
「幕府天薬頭の見た朝鮮通信使と琉球国使節(一)」宗田一『啓迪』(10)27-30
「日本エスペラント運動史と医師」中西淳朗『保健医の臨床』(325)27-35
「Anaesthesiaの命名」中原泉『日本歯科医史学会々誌』19(1)1-4
「Anaesthesiaの命名」中原泉『日本医史学雑誌』38(2)234-236
「『仁助咄』にみられる医学」浜田善利『日本医史学雑誌』38(3)

471-486

「信念の病理」三浦雅弘『医学哲学・医学倫理』(10)1-11
「ロバート・ボイルの粒子仮説」三浦雅弘『慶応義塾看護短大紀要』(2)1-8

60 中国語文献(北里研究所東医研医史学研究部担当)

「中医近代史述評(1840~1949)」李任先・劉小斌『中華医史雑誌』22(1)1~6
「婦産科的興起」李丹溪『中華医史雑誌』22(1)6
「近代西洋医学伝入福建概述」劉徳榮『中華医史雑誌』22(1)7~11
「黄竹齋対仲景学説的研究」蘇礼『中華医史雑誌』22(1)12~15
「黄竹齋与古本『傷寒論』」魏雪舫・陳忠琳『中華医史雑誌』22(1)16~19
「哮喘認識過程中兩位哮喘患者的貢獻」戴献溪『中華医史雑誌』22(1)19
「厦門海關檢疫的創始与曼遜博士」楊上池『中華医史雑誌』22(1)20~22
「産褥熱病因揭露前後」甄橙『中華医史雑誌』22(1)22
「『柳選四家医案』及翁同和未刊序」戴祖銘『中華医史雑誌』22(1)23~25
「古今養生方概述」林乾良『中華医史雑誌』22(1)26~29
「『外經微言』的作者、成書年代」李今垣『中華医史雑誌』22(1)30~31

「崔嘉彦西原脈学及其學術成就」張同君『中華醫史雜誌』22(1) 32~37

「基因概念的歷史淵源及其發展」劉學礼『中華醫史雜誌』22(1) 38~43

「國際疾病分類簡史」謝憚張蔚『中華醫史雜誌』22(1) 44~47

「国外醫史文獻檢索簡介」張大慶『中華醫史雜誌』22(1) 47

「精神病護理史」虞孝國『中華醫史雜誌』22(1) 48~53

「近代蒙醫學史研究簡介」策·財吉拉胡『中華醫史雜誌』22(1) 54~58

「耳科手術的開始」李丹溪『中華醫史雜誌』22(1) 58

「從蘇武“自刺”被救看匈奴之醫術」陶·蘇和『中華醫史雜誌』22(1) 59~60

「評高等中醫院校教學參考書『中國醫學史』」蔡景峰『中華醫史雜誌』22(1) 61~63

「我國最早的麻風雜誌—『麻風季刊』」江澄『中華醫史雜誌』22(1) 64

「對近代中國醫學史研究的幾點意見」鄧鈺濤『中華醫史雜誌』22(2) 65~67

「醫史研究中統計學的應用」河北『中華醫史雜誌』22(2) 67

「民國時期的醫學學術團體」李劍『中華醫史雜誌』22(2) 68~73

「『五十二病方』“產齊赤”考」梁茂新『中華醫史雜誌』22(2) 73

「陶弘景本草著作中諸問題的考察」廖育群『中華醫史雜誌』22(2) 74~79

「蘭道人与『仙授理傷統斷秘方』」劉馳·袁秀麗『中華醫史雜誌』22(2) 79

「『醫宗金鑑』的編纂及其成就」高明明『中華醫史雜誌』22(2) 80~83

「『本草綱目』對口腔醫學的貢獻」喬守正『中華醫史雜誌』22(2) 84~86

「『內經』“放血療法”初探」嚴健民『中華醫史雜誌』22(2) 87~89

「張仲景『傷寒雜病論·平脈法』考弁」何愛華『中華醫史雜誌』22(2) 90~94

「『靈樞·九宮八風篇』的九宮圖非其所有」『中華醫史雜誌』22(2) 95~96

「腦髓液細胞學發展簡史」張劭夫『中華醫史雜誌』22(2) 97~99

「免疫學發展綱要」胡國強·汪承滋『中華醫史雜誌』22(2) 100~102

「超聲醫學發展簡史」馬玉峰·趙其芳·安伝水·孫文英『中華醫史雜誌』22(2) 103~105

「近代中日兩國的中國醫學交流」靳士英『中華醫史雜誌』22(2) 106~112

「鑑真的日本醫藥弟子韓廣足」史世勤『中華醫史雜誌』22(2) 113~114

「紫雪方的出處」徐昭玉『中華醫史雜誌』22(2) 114

「『月王藥診』与『黃帝內經太素』」乃臧陳來『中華醫史雜誌』22(2) 115~118

「康熙与西方醫藥」李一白『中華醫史雜誌』22(2) 118

「19世紀末的英国Guy医院」史悟『中華医史雜誌』22(2)118
「評李經緯李志東編著的『中国古代医学史略』」張文·趙石麟
『中華医史雜誌』22(2)119~122
「德国的幾位内科学家」王小輝『中華医史雜誌』22(2)122
「傅維康著『杏林述珍』讀後」陸肇基『中華医史雜誌』22(2)
123~125
「我国医学史核心期刊初步調查」李成建·柯銀花·孫為民·
郭正文『中華医史雜誌』22(2)125
「歷史上的兩位德国医家」程昊『中華医史雜誌』22(2)封3
「19世紀意大利的兩位臨床医家」施永梅『中華医史雜誌』22(2)
封3
「張家山漢簡『脈書』『引書』積文通訓」史常永『中華医史雜誌』
22(3)129~136
「徐之才『藥對』考略」歐陽新燕『中華医史雜誌』22(3)137~139
「我国古代有關拔牙術的記載」李剛『中華医史雜誌』22(3)139
「陳藏器創“十劑”証捫二則」孫啓明『中華医史雜誌』22(3)
140~141
「戰国陽城注重飲用衛生的地下供水工程遺址」李京華『中華
医史雜誌』22(3)142~147
「有關卵巢手術的記載」甄橙『中華医史雜誌』22(3)147
「社会因素对中藥文獻的影響」王三虎『中華医史雜誌』22(3)
148~150
「国民政府时期中国医藥衛生概況」張耀德『中華医史雜誌』
22(3)151~157

「一位走出杏林步入梨園的医生」劉九如『中華医史雜誌』22(3)
157
「魯桂珍博士伝略」李約瑟『中華医史雜誌』22(3)158~161
「血清和万克醒製劑」宋之琪『中華医史雜誌』22(3)161
「試論中医史研究重心的轉移」吳云波『中華医史雜誌』22(3)
162~165
「陰道窺器的發明者」李丹溪『中華医史雜誌』22(3)165
「抗戰时期的延安中央医院」吳廷瑞·謝登『中華医史雜誌』
22(3)166~168
「現代眼科学的兩位前驅者」甄橙『中華医史雜誌』22(3)168
「中国近代生理学大事年表(1840~1949)」劉学礼『中華医史
雜誌』22(3)169~174
「丁福保与中日伝統医学交流」高毓秋·真柳誠『中華医史雜
誌』22(3)175~180
「幽門螺旋杆菌檢驗技術發展簡史」趙普干·劉曉平『中華医
史雜誌』22(3)181~183
「視網膜電図研究史」唐朝克『中華医史雜誌』22(3)184~186
「朱聘君即朱震亨」高偉『中華医史雜誌』22(3)186
「白糖在蒙·藏医療法中的運用」德·呼格吉樂因『中華医史
雜誌』22(3)187~188
「『四川名医伝』評介」宋興『中華医史雜誌』22(3)189~190
「血清考古学与流感流行史」嚴家新『中華医史雜誌』22(3)190
「延安精神的生動再現」張文『中華医史雜誌』22(3)191~192
「我国王良医师首先製備卡介苗」『中華医史雜誌』22(3)192

「中国近代骨科学的歷史背景和發展」馮佺漢·虞大年『中華
醫史雜誌』22(4)193~203

「福建省絲虫病的發現與基本消滅(1872~1988)」陳桂光『中
華醫史雜誌』22(4)204~208

「江西的衛生組織機構(1934~1949)」胡水印『中華醫史雜誌』
22(4)209~213

「謝利恒致黃卿信」馬大正『中華醫史雜誌』22(4)213

「黃寬佺略」張慰豐『中華醫史雜誌』22(4)214~216

「蒙醫學家羅布桑丹金扎拉倉」賽·娜仁、吉格木德『中華醫
史雜誌』22(4)216

「『雷公炮炙論』著作年代新証」祝垂平『中華醫史雜誌』22
(4)217~221

「心臟起拍器簡史」張大慶『中華醫史雜誌』22(4)221

「陳葳器『本草拾遺』及其博物學價值」黃可泰『中華醫史雜誌』
22(4)222~224

「試論敦煌醫學價值」譚真『中華醫史雜誌』22(4)224~231

「19世紀比利時的眼科」甄橙『中華醫史雜誌』22(4)231

「西方醫學在通泉之始」劉帆『中華醫史雜誌』22(4)231

「言天驗人—中醫學概念史論要」囟姪『中華醫史雜誌』22(4)
232~239

「從『內經』看十二經脈理論的形成過程」吳弥漫『中華醫史雜
誌』22(4)240~243

「北宋仁宗英宗醫療案件始末」鄭文『中華醫史雜誌』22(4)
244~247

「明代醫學發展得失談」黃素英·劉曉莊『中華醫史雜誌』22(4)
248~250

「唐蕃醫藥交流」朱建平『中華醫史雜誌』22(4)251~255

「古代兩件鈔製藥工具」毛光驊『中華醫史雜誌』22(4)255

「關於『遵生八箋』弁疑數則」一文的一點補充」趙立勳『中華
醫史雜誌』22(4)封3

61 歐文文獻

ANDERSON, T.: An example of meningiomatous hyperostosis from Medieval Rochester. *Med.Hist.* 36(2), 207-213

ATKINS, P.J.: White Poison?: The Social Consequences of Milk Consumption in London, 1850-1939. *So.Hist.Med.* 5(29), 207-228

BAKER, P.A.: *Illustrations from the Wellcome Institute Library: The Moran papers.* *Med.Hist.* 36(4), 455-459

BARNES, D.S.: The Rise or Fall of Tuberculosis in Belle-Epoque France: A Reply to Alan Mitchell. *So.Hist. Med.* 5(2), 279-290

BARNETT, L. Margaret: The Impact of "Fletcherism" on the Food Policies of Herbert Hoover during World War . *Bull.Hist.Med.* 66(2), 234-259

BARTTRIP, Peter: A "Pennurth of Arsenic for Rat Poison": the Arsenic Act, 1851 and the prevention of secret poisoning. *Med.Hist.* 63(1), 53-69

- BATES, Don G.: Harvey's account of his "Discovery".
Med.Hist. 36(4) ,361-378
- BENEDEK, Thomas G.: The Influence of Ulrich von Hutten's Medical Descriptions and Metaphorical Use of Medicine. Bull.Hist.Med. 66(3) ,355-375
- BERGDOLT, Klaus: Petrarca und die Pest. SUDHOFFS ARCH. 76(1) ,63-73
- BLUSTEIN, Bonnie E.: Percival Bailey and Neurology at the University of Chicago,1928-1939. Bull.Hist.Med. 66(1)90-113
- BOLLET, Alfred Jay: Scurvy and Chronic Diarrhea in Civil War Troops: Were They Both Nutritional Deficiency Syndromes?. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(1) ,49-67
- BRUNTON, Deborah: Smallpox inoculation and demographic trends in eighteenth-century Scotland. Med.Hist. 36(4) ,403-429
- CASH, Philip: Setting the Stage:Dr.Benjamin Waterhouse's Reception in Boston,1782-1788. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(1) ,5-28
- CASEDY, James H.: Numbering the North's Medical Events:Humanitarianism and Science in Civil War Statistics. Bull.Hist.Med. 66(2) ,210-233
- CHERNIN, Eli: Sir Patrick Manson:physician to the Colonial Office,1897-1912. Med.Hist. 36(3) ,320-331
- CHERNIN, Eli: The early British and American journals of tropical medicine and hygiene:an informal survey. Med.Hist. 36(1) ,70-83
- CHERRY, Steven: Change and continuity in the cottage hospitals c.1859-1948 the experience in East Anglia. Med. Hist. 36(3) ,271-289
- CHERRY, Steven: Beyond National Health Insurance.The Voluntary Hospitals Contributory Schemes:A Regional Study. So.Hist.Med. 5(3) ,455-482
- CRAMMER, J.L.: Extraordinary deaths of asylum inpatients during the 1914-1918 war. Med.Hist. 36(4) ,430-441
- DOWBIGGIN, Ian: "An Exodus of Enthusiasm":G.Alder Blumer,eugenics,and US psychiatry,1890-1920. Med.Hist. 36(4) ,379-402
- DOWBIGGIN, Ian: "Midnight Clerks and Daily Drudges": Hospital Psychiatry in New York State,1890-1905. J. Hist.Med.Allied.Sci. 47(2) ,130-152
- DUNSFORD, Deborah: Principle versus Expediency:A Rejoinder to F.B.Smith. So.Hist.Med. 5(3) ,505-514
- EBBERT, Arthur,Jr./and others: A Gathering of Friends in Memory of Elizabeth Harriet Thomson(1907-1991) held in the Historical Library,Yale University School of Medicine on Saturday,25January1992. J.Hist.Med.Allied.

- Sci. 47(3) ,253-269
- ESTES, J.Worth: American Association for the History of Medicine:Report of the Sixty-fifth Annual Meeting. Bull. Hist.Med. 66(3) ,451-460
- EVANS, David: Tackling the'Hideous Scourge':The Creation of the Venereal Disease Treatment Centres in Early Twentieth-Century Britain. So.Hist.Med. 5(3) ,413-434
- FERNGREN, Gary B.: Early Christianity As a Religion of Healing. Bull.Hist.Med. 66(1) ,1-15
- FINLAY, Mark R.: Quackery and Cookery:Justus von Liebig's Extract of Meat and the Theory of Nutrition in the Victorian Age. Bull.Hist.Med. 66(3) ,404-418
- FRASER, Kevin J.: William Stukeley and the gout. Med. Hist. 36(2) ,160-185
- FRIEDLANDER, Walter J.: Texts and Documents:The Bigelow-Simpson Controversy:Still Another Early Argument over the Discovery of Anesthesia. Bull.Hist.Med. 66(4) ,613-625
- GERBER, Johannes: Giordano Bruno und Raphael Egli: Begegnung im Zwielficht von Alchemie und Theologie. SUDHOFFs ARCH. 76(2) ,133-163
- GEVITZ, Norman: Samuel Fuller of Plymouth Plantation: A 'Skillful Physician' or 'Quacksalver' ?. J.Hist.Med. Allied.Sci. 47(1) ,29-48
- GLOMSKI, Jacqueline: An Unrecorded Variant Issue of the Pseudo-Vesalius *Chirurgia Magna*. J.Hist.Med. Allied.Sci. 47(4) ,462-470
- GREENBAUM, Louis S: Thomas Jefferson's University of Virginia and the Paris hospitals on the eve of the French Revolution. Med.Hist. 36(3) ,306-319
- GROOS, Arthur: Treating the Grail King:Astrology and Medicine in Book XVI of Wolfram's "Parcival". SUDHOFFs ARCH. 76(1) ,74-86
- HABERMAS, Tilman: Die Anorexia nervosa(Magersucht) in der deutschsprachigen medizinischen Literatur von 1900bis1945. SUDHOFFs ARCH. 76(1) ,37-62
- HAGNER, Michael: The soul and the brain between anatomy and *Naturphilosophie* in the early nineteenth century. Med.Hist. 36(1) ,1-33
- HAMLIN, C: Predisposing Causes and Public Health in Early Nineteenth-Century Medical Thought. So.Hist. Med. 5(1) ,43-70
- HARDY, Anne: Rickets and the Rest:Child-care,Diet and the Infectious Children's Diseases,1850-1914. So.Hist. Med. 5(3) ,389-412
- HARDY, Anne: Tracheotomy versus Intubation:Surgical Intervention in Diphtheria in Europe and the United States,1825-1930. Bull.Hist.Med. 66(4) ,536-559

- HARIG, Georg: Sudhoffs Sicht der antiken Medizin. SUDHOFFS ARCH. 76(1), 97-105
- HARRIS, Benjamin/ BRODK, Adrian: Freudian Psychopolitics: The Rivalry of Wilhelm Reich and Otto Fenichel, 1930-1935. Bull.Hist.Med. 66(4), 578-612
- HELVOORT, Ton van: Bacteriological and physiological research styles in the early controversy on the nature of the bacteriophage phenomenon. Med.Hist. 36(3), 243-270
- HENRIOT, C: Medicine, V.D. and Prostitution in Pre-Revolutionary China. So.Hist.Med. 5(1), 95-120
- HILDEBRAND, Reinhard: Anatomie und Revolution des Menschenbildes. SUDHOFFS ARCH. 76(1), 1-27
- HILDEBRAND, Reinhard: Mikroskopische Anatomie mit den Augen des makroskopischen Anatomen: Der Wiener Anatom Joseph Hyrtl und seine mikroskopischen Injektionspräparate. SUDHOFFS ARCH. 76(2), 203-213
- HOWELL, Joel D./ MCLAUGHLIN, Catherine G.: Race, Income, and the Purchase of Medical Care by Selected 1917 Working-Class Urban Families. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(4), 439-461
- JONES, Greta: Marie Stopes in Ireland: The Mother's Clinic in Belfast. So.Hist.Med. 5(2), 255-278
- KONKOLA, Kari: More Than a Coincidence? The Arrival of Arsenic and the Disappearance of Plague in Early Modern Europe. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(2), 186-209
- LI, Alison: J.B.Collip, A.M.Hanson, and the Isolation of the Parathyroid Hormone, or Endocrines and Enterprise. J. Hist.Med.Allied.Sci. 47(4), 405-438
- LLOYD, G.E.R.: *The Fielding H.Garrison Lecture*: The Transformations of Ancient Medicine. Bull.Hist.Med. 66(1), 114-132
- LÖWY, Ilana: From Guinea Pigs to Man: The Development of Haffkine's Anticholera Vaccine. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(3), 270-309
- LONGFIELD-JONES, G.M.: Buccaneering doctors. Med. Hist. 36(2), 187-26
- LOVELL, Richard: Choosing people: an aspect of the life of Lord Moran (1882-1977). Med.Hist. 36(4), 442-454
- LOVELL, Richard: Choosing people: an aspect of the life of Lord Moran (1882-1977). Med.Hist. 36(4), 442-454
- MARKS, Harry M.: Cortisone, 1949: A Year in the Political Life of a Drug. Bull.Hist.Med. 66(3), 419-439
- MARTENSEN, Robert L.: "Habit of Reason": Anatomy and Anglicanism in Restoration England. Bull.Hist.Med. 66(4), 511-535
- MITCHELL, A.: Tuberculosis Statistics and the Mckeown Thesis: A Rebuttal to David Barnes. So.Hist.Med.

- 5 (2) ,219-296
- MOODY, D.Branch : Healing Power in the Marian Miracle Books of Bavarian Healing Shrines,1489-1523 A.D. J. Hist.Med.Allied.Sci. 47(1) ,68-90
- MORUS, Iwan Rhys: Marketing the Machine:the construction of electrotherapeutics as viable medicine in early Victorian England. Med.Hist. 36(1) ,34-52
- MURNAGHAN, Jane H./ TALALAY,Paul: Texts and Documents:H.H.Dale's Account of the Standardization of Insulin. Bull.Hist.Med. 66(3) ,440-450
- MURPHEY, Rhoads: Ottoman Medicine and Transculturalism from the Sixteenth through the Eighteenth Century. Bull.Hist.Med. 66(3) ,376-403
- NELSON, Marie C./ROGERS,John: The Right to Die? Anti-vaccination Activity and the 1874 Smallpox Epidemic in Stockholm. So.Hist.Med. 5(3) ,369-388
- NEUMANN, Joseph: Die Missgestalt des Menschen-ihre Deutung im Weltbild von Antike und Frühmittelalter. SUDHOFFs ARCH. 76(2) ,214-
- O'BOYLE, Cornelius: Medicine,God,and Aristotle in the Early Universities:Prefatory Prayers in Late Medieval Medical Commentaries. Bull.Hist.Med. 66(2) ,185-209
- PADBERG, Britta: Empirische Zugänge zu einer Epidemiologie des Mittelalters. SUDHOFFs ARCH. 76(2) ,168-178
- PALMER, Edwina/RICE,Geoffrey W.: A Japanese Physician's Response to Pandemic Influenza:Ijiro Gomibuchi and the "Spanish Flu" in Yaita-Chö,1918-1919. Bull.Hist. Med. 66(4) ,560-577
- PARASKOS, John A.: Biblical Accounts of Resuscitation. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(3) ,310-321
- PITCOCK, Cynthia de Haven: William Beaumont,M.D.and Malpractice:The Mary Dugan Case,1844. J.Hist.Med. Allied.Sci. 47(2) ,153-162
- POWELL, Martin: Hospital Provision before the National Health Service:A Geographical Study of the 1945 Hospital Surveys. So.Hist.Med. 5(3) ,483-504
- PRIORESCHI, Plinio: Supernatural Elements in Hippocratic Medicine. J.Hist.Med.Allied.Sci. 47(4) ,389-404
- PROFF, Peter: Lösungswege zur funktionellen Deutung griechisch-römischer medizinischer Instrumente. SUDHOFFs ARCH. 76(2) ,179-190
- RISSE, G.B./ WARNER,J.H.: Reconstructing Clinical Activities:Patient Records in Medical History. So.Hist. Med. 5(2) ,183-206
- RISSE, Guenter B.: Presidential Address:"A Long Pull,A Strong Pull,and All Together":San Francisco and Bubonic Plague,1907-1908. Bull.Hist.Med. 66(2) ,260-286

- ROSNER, L: Thistle on the Delaware:Edinburgh Medical Education and Philadelphia Practice,1800-1825. *So.Hist. Med.* 5(1) ,19-42
- SLACK, P: Dearth and Social Policy in Early Modern England. *So.Hist.Med.* 5(1) ,1-18
- SMITH, F.B.: Unprincipled Expediency:A Comment on Deborah Dunsford's paper. *So.Hist.Med.* 5(3) ,515-516
- SOURKES, Theodore L.: The Origins of Neurochemistry: The Chemical Study of the Brain in France at the End of the Eighteenth Century. *J.Hist.Med.Allied.Sci.* 47(3) ,322-339
- STURDY, Steve: The political economy of scientific medicine:science,education and the transformation of medical practice in Sheffield,1890-1922. *Med.Hist.* 36(2) ,125-159
- SÜSS, Jochen / FRÜH, Dorothee: "Präformation und Prädiktion" des Geschlechts beim Menschen.Wilhelm Weinbergs Kritik an Otto Schöners "Theorie". *SUDHOFFs ARCH.* 76(2) ,191-202
- SUNDIN, Jan: The History of Public Health and Prevention:Current Swedish Research. *So.Hist.Med.* 5(3) ,517-524
- TANSEY,E.M.: the science least adequately studied in England":Physiology and the George Henry Lewes Studentship,1879-1939. *J.Hist.Med.Allied.Sci.* 47(2) ,163-185
- TOMKINS,Sandra M.: The Failure of Expertise: Public Health Policy in Britain during the 1918-19 Influenza Epidemic. *So.Hist.Med.* 5(3) ,435-454
- TRACY,Sarah W.: George Draper and American Constitutional Medicine,1916-1946:Reinventing the Sick Man. *Bull.Hist.Med.* 66(1) ,53-89
- VANPOPPEL,F: Religion and Health:Catholicism and Regional Mortality Differences in Nineteenth-Century Netherlands. *So.Hist.Med.* 5(2) ,229-254
- VEERARAGHAVAN,D./ MURALEEDHARAN,V.R.: Anti-malarial policy in the Madras Presidency:an overview of the early decades of the twentieth century. *Med. Hist.* 36(3) ,290-305
- WILLIAMS,N: Death in its Season:Class,Environment and the Mortality of Infants in Nineteenth-Century Sheffield. *So.Hist.Med.* 5(1) ,71-94
- WILSON,Leonard G.: The Rise and Fall of Tuberculosis in Minnesota:The Role of Infection. *Bull.Hist.Med.* 66(1) ,16-52